

毛利高範侯旧蔵洋書（独文） 目録

佐伯市文化財調査報告書



1 9 9 1

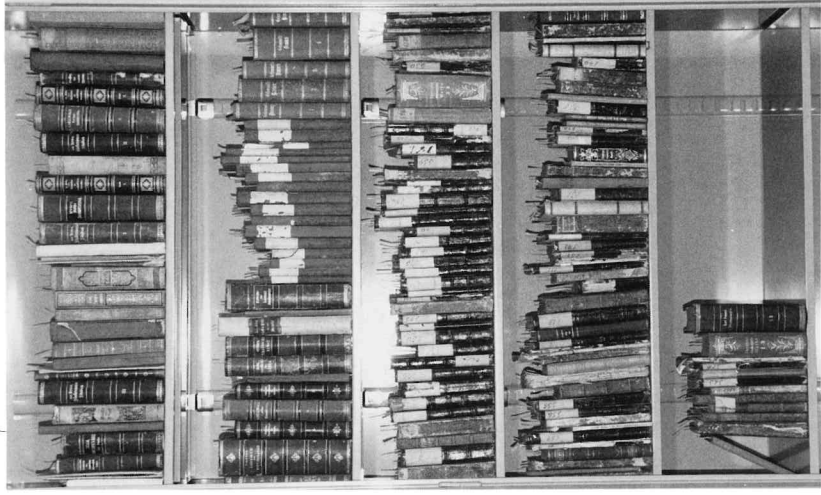
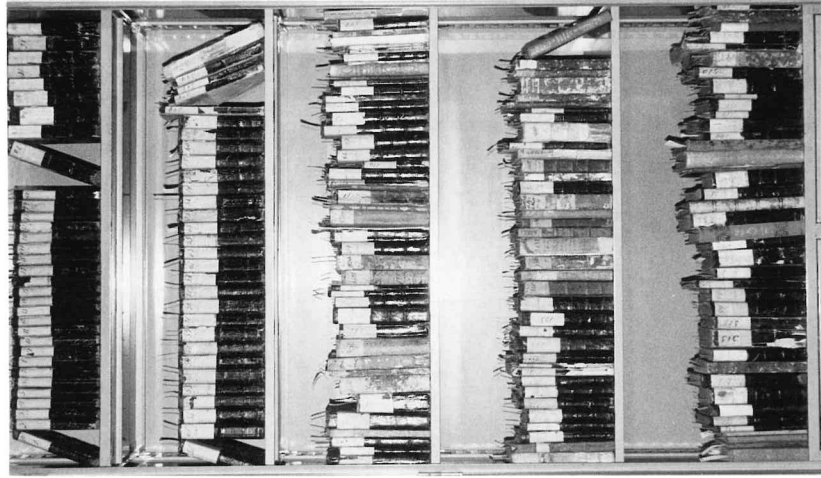
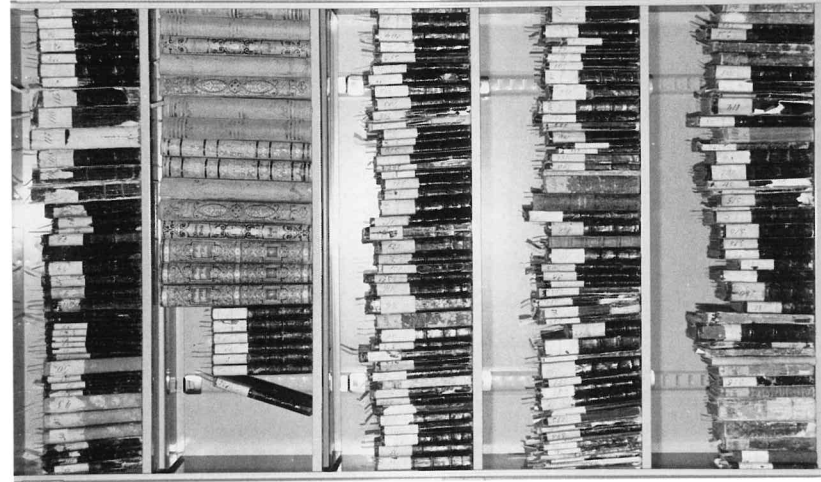
佐伯市教育委員会

毛利高範侯旧蔵洋書（独文） 目録

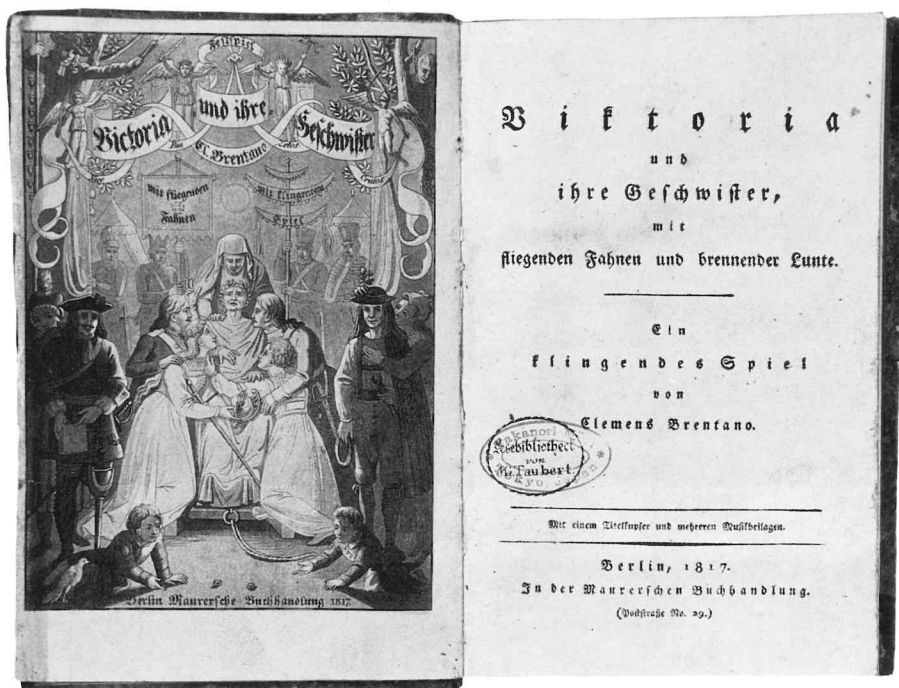
佐伯市文化財調査報告書

1 9 9 1

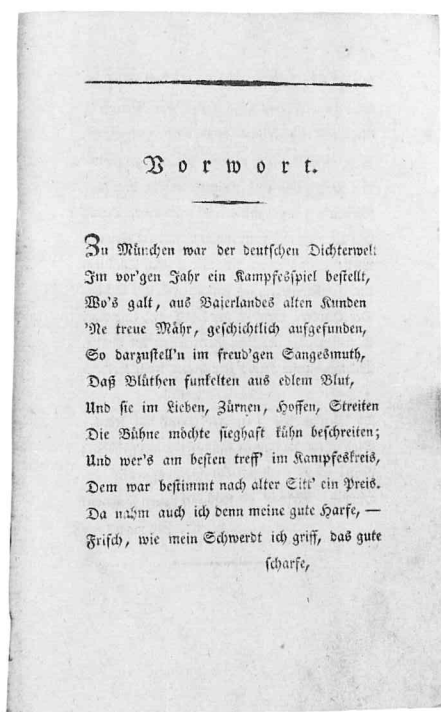
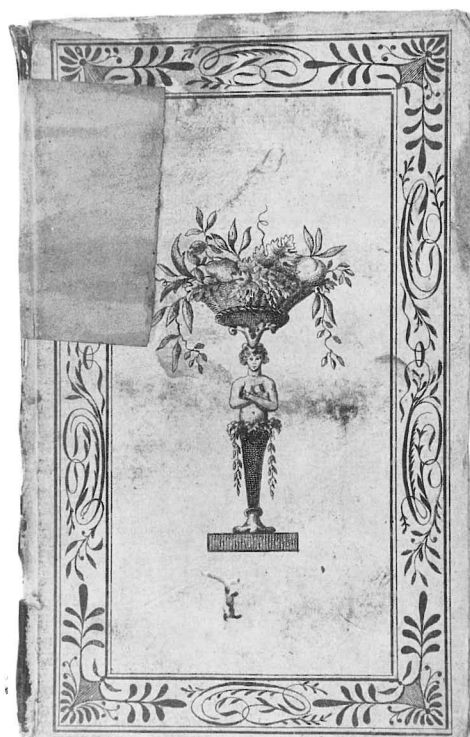
佐伯市教育委員会



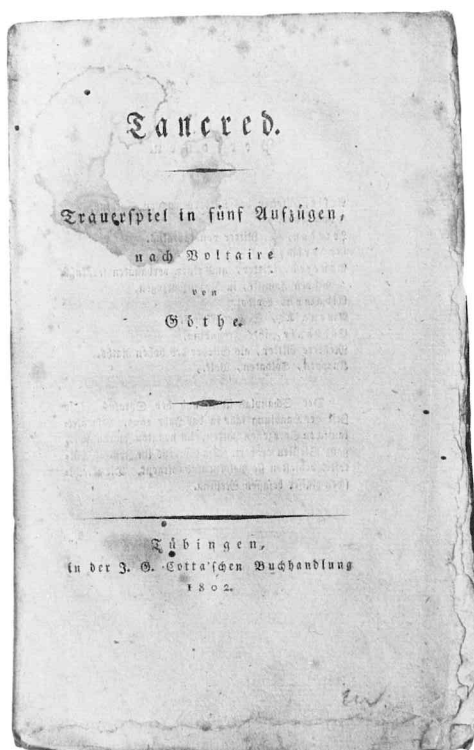
毛利高範侯旧蔵洋書（独文）収納全景（未分類）



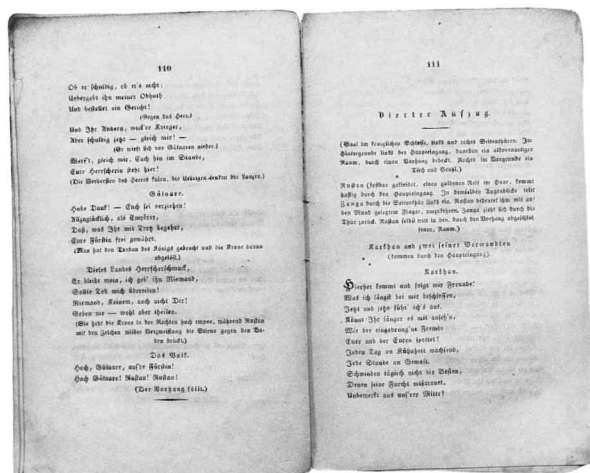
95—Brentano, Viktoria und ihre Geschwister mit fliegenden Fahnen und brennender Lunte.



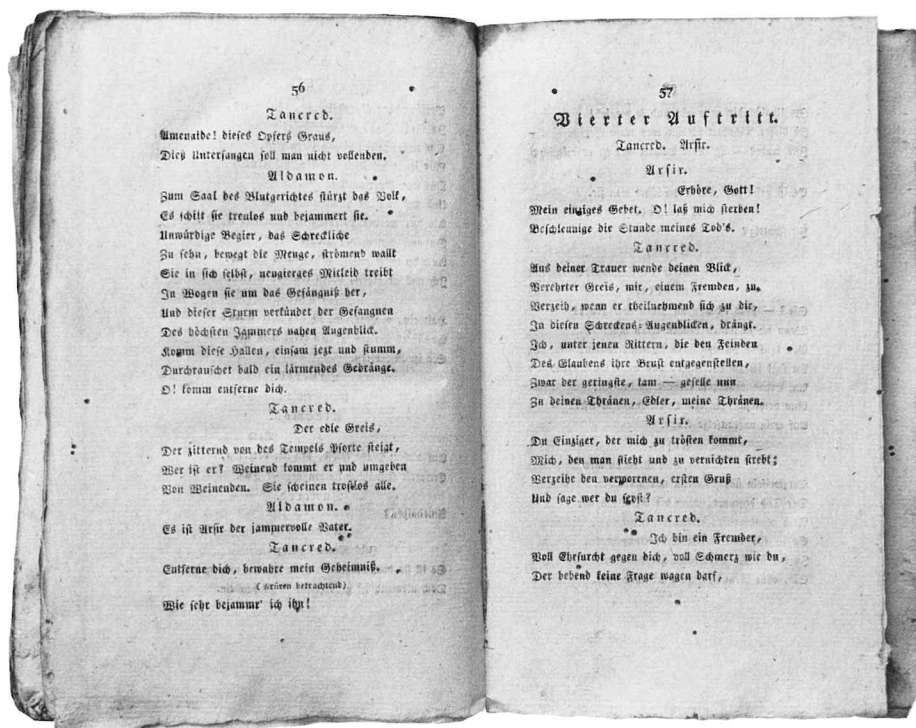
130—Fouqué, Hieronymus von Stauf.

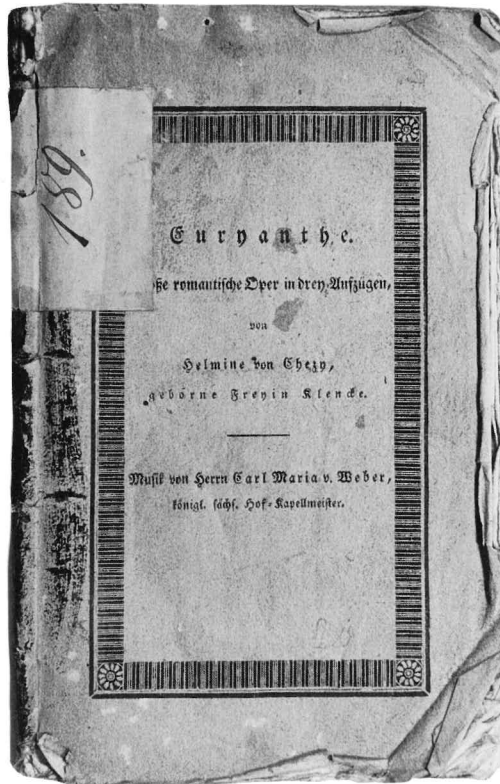


148—Grillparzer, Der Traum.

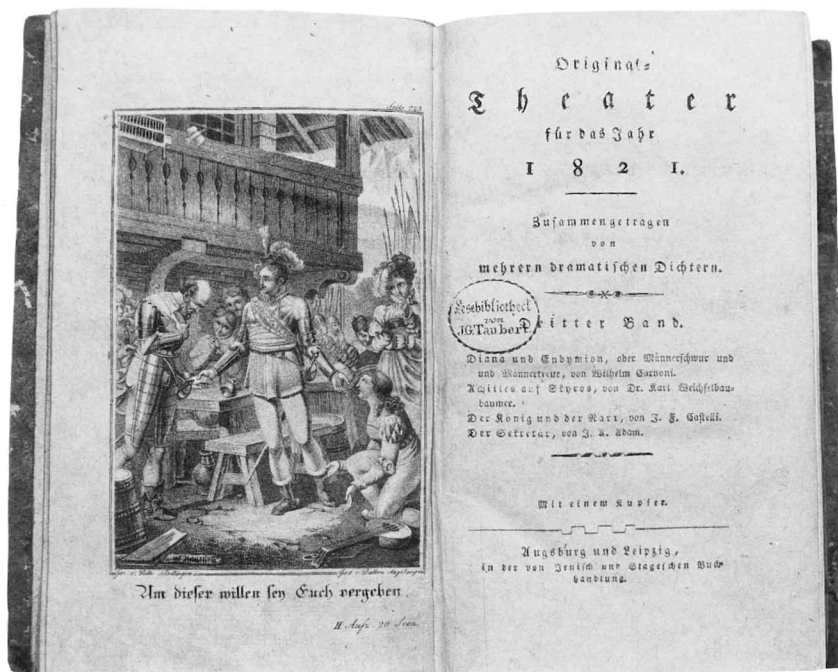


374—Goethe, Tancred.





442—Chezy/weber, Euryanthe.



506—Original-Theater für das Jahr 1821. Bd.3.

Diana und Endymion

oder

Männerschwur und Männertreue.

Ein

Kußspiel in drei Aufzügen

von

Wilhelm Carnoni.

Original: Theater III. Bd.

1

Achilles auf Skyros.

Ein

Schauspiel in einem Aufzuge

von

Dr. Karl Weichselbaumer.

**Der
König und der Narr.**

Ein

geschichtliches Kußspiel in zwei Aufzügen.

Nach dem Französischen frei bearbeitet

von

J. S. Capelle.

Original: Theater III. Bd.

21

Der Sekretär.

Eine

Familienzene in einem Aufzuge

von

J. M. Adam.

Original: Theater III. Band.

25



St. (1)=TAUBERT'S LEIHBIBLIOTHEK



St. (5)=EIGENTUM DES LITERARISCHEN MUSEUM



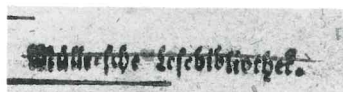
St. (2)=Lesebibliothek von J. G. Taubert



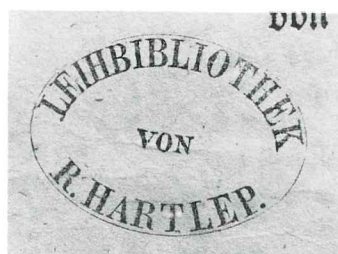
St. (6)=Johann Gottfried Richter
(イラストの右)



St. (3)=Takanori Mori * Tokyo, Japan



St. (4)=Müllersche Lesebibliothek



St. (7)=LEIHBIBLIOTHEK von R. HARTLEP

はじめに

毛利・佐伯藩は東九州の僻地に位置する表高二万石の小藩ですが、三方を囲む峻厳な山並みは自然の要害ともなり、おのずと海洋に開けた地の利を活かす領国経営がとられていきました。この間、毛利氏の入部以来、外様に類しながらも江戸時代の全期を通じて御家断絶の憂き目にあうこともなく、厳しい幕藩体制をくぐりぬけてよく藩存続がはかられたことは注目すべきことであります。

そのことは、当時の政治・社会状況を克明に記録した藩の公的な記録や貴重な文献等の散逸を防ぎえたことにも通じるわけで、一連の系統的な藩政史料はまさしく郷土史研究の宝庫となっています。

今一つ特筆すべきは、第八代藩主・毛利高標侯が「佐伯文庫」蔵本（全盛期八万余巻）として藩財政の大半を注ぎ込んでまでも蒐集した壮大な漢籍コレクションの存在であり、今日の残存本（約三千冊）によっても、隣国・中国文化への熱い憧憬の念がうかがえます。

両者は双璧をなす当市の誇るべき歴史遺産にほかならず、既に目録を作製し、その全容の解明に努めているところです。

このほか佐伯市には、やはり毛利家から寄贈していただいた江戸後期から近代にわたる和・漢・洋の図書類、並びに中島時軒、山口正名、佐藤鶴谷等の各旧蔵本を所蔵しております。今回、鶴谷が著録・編纂した稿本類と毛利高範侯が輯集した洋書について緊急調査を実施し、それぞれ「鶴谷佐藤蔵太郎旧蔵資料目録（稿本類）」、「毛利高範侯旧蔵洋書（独文）目録」として報告書を作製しました。

佐藤鶴谷（1855～1942）は、自由民権思想の高まりにより立憲政治への道が模索されるなか、明治15年に矢野龍溪門下で文筆活動を開始し、同時に政党人としても一時期得意の論陣をはりました。以後大正初期までジャーナリストの道を歩み続けますが、しかし、氏の後半生は明治35年豊国史談会の創設を機に一転して郷土史研究に没頭してゆくことになり、その研究成果をまとめた著作類や編纂資料のほとんどは公刊されることなく、稿本のまま今日に伝えられています。

高範侯（1866～1936）は肥後宇戸・細川家から来伯、毛利家第十三代として後を継ぎ、子爵を授けられて華族に列せられました。そして、明治21年5月には若干23歳でドイツに留学し、それから三年の間西欧の文物をつぶさに視察したうえで、明治24年4月27日仏国汽船シドニー号で帰朝しております。

文化や国民生活の近代化を促進する必要から、率先して欧米の近代思想や生活様式などを積

極的に導入していたおりに、知識人が先進国に寄せる関心の強さは並々ならぬものがあったと思われます。ここに高範侯が輯集した洋書は、とりわけドイツ文化に寄せた関心の深さを如実に示すものであります。しかも演劇・戯曲類等にかぎり、現存するものでも約600分綴・冊に及ぶことはほかに類をみません。

歴史の動向に脈うつ外国文化を機敏に察知し、それをいち早く摂取しようとする姿勢は、かつて佐伯文庫の蒐集にみた高標侯の中国文化に対するそれ、と一脈通じているのかもしれない。

鶴谷が残した郷土史・資料にしても、高範侯が輯集した洋書類にしても、ほぼ同時代に生きた両者の業績と立場を異にした歴史的役割を学問的に再評価するためには、第一にそれらの厳密な書誌学的検討が是非とも必要になります。

幸いにも、福岡大学教授・秦行正先生と同助教授・和田達宜先生をお迎えし、それぞれの専門的分野から各目録を編輯していただきましたことは誠に喜びに堪えない次第であります。調査期間中は秦、和田先生とも書塵堆積裡のものともせず精力的に作業を進めていただきました。

ここにあらためて深甚の謝意と敬意を表するものであります。

いま国際化のなかの日本を唱えるとき、何よりもまず私たちの身の周りをしっかりと把握し、確固とした信念を備える必要があります。地方史また郷土史の問い直しが新たな関心と呼びおこしているのもそのためでありましょう。この二つの目録が郷土史研究はもとより広く学術研究に寄与することを心から期待しております。

佐伯市教育委員会

まえがき

毛利高範侯旧蔵洋書は、ドイツ・オーストリアの劇文学関係書籍をもっぱら蒐集対象にした専門コレクションの性格を備えております。およそ400タイトル、冊数にして575冊に及ぶ収蔵書は、1750年代から1890年代に至るドイツ語の書籍で構成され、その殆どが劇文学の作品テキストで占められます。しかも、この遺蔵書は、本目録に示しましたように、その多くが初版本であり、初版にして唯一の刊本という作品テキストも少なくありません。そのためこの文庫の資料的価値は極めて高いものといえ、ドイツ語圏の演劇や楽劇の歴史を研究する上での貴重な資料として国内外の注目を集めることと思われます。

本文庫の資料を出版年で18世紀、19世紀前期、同後期の三期に大別した場合、その構成比はおよそ1：3：2になり、19世紀前半の刊本が全体の5割に及びます。19世紀前の古刊本はその希少価値のために一律に貴重書扱いとする例もみられ、このような尺度を適用するならば本文庫には約100冊の貴重書が存在することになり、印刷紙としてラグ紙、コットン紙を使用した時代のものであるため然るべき保存管理が必要とされます。

本文庫の場合、18世紀の刊本に19世紀前半の刊本を合わせた約400冊と、19世紀後半60年代までの大部分を加えた資料に関連して特筆すべきことがいくつかあります。まず、この年代に属する資料の殆どに貸本業者の押印と図書の整理番号が見られるという点であります。しかも少数の例外を除き、Taubertという業者の印が押されています。この業者の店舗印は1830年頃を境にLesebibliothekから（業態をより明確に表わすような呼称の）Leihbibliothekに変わりますが、Taubertの印がある資料は旧称時代のものが約264冊、改称後のものが約140冊で、文庫全体の7割を占めます。また、こうした業者本では作品集、選集などの場合に限定されますが、一冊の本を解体して作った分冊が20例余りあります。これらは、一冊の本からより多くの利潤を追求しようとした貸本商法の一端を物語るものとして、注目すべき例であります。

一方、特製の分冊本に対し、いくつかの単行冊子をまとめて装丁した合本の存在もかなりの数にのぼります。正確には文庫全体の1割を占める58冊が合本で、これらは総数175冊の単行冊子から成り立っています。

先に、本文庫の総冊数を575冊としておりますが、これはあくまでも便宜的に示した数字であり、分冊本も合本もそれぞれ1冊として数えております。合本を構成する各冊子を単行書として計算すれば総数は691冊、分冊本だけを清算すれば555冊余りとなります。同様にタイトル総数も変動的な数字となりますが、合本各冊子を含めない場合、点数は413タイトルということになります。

本文庫の概要は以上のとおりであります。この中に含まれる戯曲のテキスト数は、全集などに所収のものすべてを含めた場合、1100余りとなり、一個人の蒐集としては信じがたいような実に膨大な数に達しています。また、個人の収蔵書に、過去に貸本として利用された図書が大量に含まれ、その比率が全体の7割を占めるということは特に注意を引く点であります。

ここで、貸本と関連させながら19世紀の出版事情について少し触れてみたいと思います。フ

ランス革命や産業革命といった社会の変革は、19世紀においてドイツ語圏の書籍出版をめぐる諸条件を大きく変化させました。あまり詳しく触れることはできませんが、たとえば、産業革命の進展は印刷機械の動力化や製紙技術の近代化によって本の量産化を可能にし、一方では読者層の底辺を拡大する可能性も開き、印刷出版に構造的な変化をもたらしました。

一方、蒸気機関などの新しい産業技術の登場は、週労83時間の時代、すなわち睡眠と食事などの生理的生活に労働外時間の殆どが費やされていた時代が過去のものとなると、産業労働者に読書の前提となる時間的余裕が生じました。また、鉄道という新しい輸送手段は、都市間の時間距離を短縮しただけでなく、駅文庫の出現が示すように、人と本との距離をも接近させる効果をあげました。

貸本業者はこうした新しい読者である大衆層をも顧客対象にして広く普及し、当時はまだ高価なものであった書籍と一般大衆との媒体の役目を果たしました。貸本業者は、会員制を敷くものとそうでないもの、豪華なサロン風の店舗を構えるもの、市中の飲食店や喫茶店の一角に構えたもの、さらには行商的なものなど、規模や形態は様々でありましたが、19世紀後半にはその数がドイツ語圏全域で、2000軒を越えていました。そして3万冊以上を揃えたような有力店から末端の零細店へと何段階かの過程を経て商品価値の下がった貸本が順次流通しておりました。こうした業者が顧客や会員に人気の高い図書をより多く揃えたのは営利を目的とする以上は当然のことでありました。新刊書に重点を置き、顧客の嗜好に合わせて入れ替えを怠らなかった有力業者は19世紀の全盛期には出版傾向そのものを左右する程の勢力で、通俗的な出版物の増加、「商品としての文学」の登場、出版の商業化といったことの一端を担いました。

19世紀後半において、碎木パルプなどの木材を原料とする新しい製紙技術の実用化で、製紙が近代工業化し、印刷紙の大量供給が可能になると、新聞の普及をはじめとして出版の様相も再度変化しました。そして通俗的な読み物はむしろ供給過剰になり、貸本業者の受け入れ能力を越えるような事態にもなりました。

低廉な文庫本の出現は画期的なことであり、大衆層に歓迎されて大いに普及しました。有名なレクラム文庫は、1867年に一律3グロッシェンの値段で登場しましたが、この価格はそれまでの書籍が最低でも1ターラー（＝30グロッシェン）はしていたことを考えれば、破格的なものであり、週1グロッシェンといった貸本一冊の料金にむしろ接近したものでありました。実際、名著・名作を中心に据えたこの文庫の普及ぶりは驚異的で、年に100点のペースで出版点数を伸ばし、1881年には総点数で1540点、(高範侯の渡独した)1888年には2430点と飛躍的な成長をとげました。文庫本のこうした普及は、貸本業者のメディアとしての力を弱め、その存在自体を相当に脅かすものでありました。

産業革命という社会経済的変化は出版の世界にも直接・間接にさまざまな影響を及ぼしたことは以上に述べたとおりですが、本文庫は書籍出版の変遷や文学の作者と読者の関係を考究する上での興味ある資料であるともいえます。

毛利高範侯は佐伯市史によれば、慶応2年(1866)12月5日、肥後宇土藩主細川行真の長子として生まれ、幼名を侃次郎(なおじろう)もしくは侃二郎と称しました。叔母美女子(みなこ)が佐伯藩主12代高謙の後妻になったことから佐伯入りし、高謙の養子となりました。そして版籍奉還、廃藩置県後の明治9年、高謙の死去に伴ない家督を相続しました。

高範侯は、世が世であるならば豊後佐伯藩の藩主の地位にあった人物であります。高範侯については『佐伯史談』（昭和60年、第138号）、『日本人名大辞典』（平凡社）などにおいても簡単な記述がある程度で、伝記的な事柄も断片的にしか分かりません。

このたびの目録作成を機に、従来の文献には触れられていない事柄がいくつか判明いたしました。ひとつには、高範侯が明治10-20年に学習院に在籍したこと、またひとつには、渡欧直後の滞在先がドイツのライプツィヒであったことであります。

東京に学習院が開学するのは明治10年のことでありますので、高範侯は学習院の第一期入学者ということになります。学習院の公式記録である『学習院第一年報〈自明治10年至同年12月〉』（明治12年7月）には男子小学生徒の名簿中に毛利侃二郎の幼名が記載されており、以後『学習院年報第十学年〈自明治19年9月至20年8月〉』（明治21年7月）に至るまでの間、第7年報を除き、高範侯の名前を確認することができます。しかしながら、「明治20年8月末調べ」となっているこの第10年報では、高範侯の名前が他所修学生の欄に記載されています。この場合の他所とはどこなのか、また17年8月末調べの第7年報に名前が見当たらないのはなぜなのか、この二点は今後の調べに譲らねばなりません。

ライプツィヒ滞在については本目録の資料No. 4, 531, 535がはっきりと示すとおりであります。また、上述のTaubertや一部の資料に関係するLiterarisches Museum, Johann Gottfried Richterがライプツィヒの業者であること（Vgl. Martino, S. 39, 194ff.）、新刊で購入されたとと思われる本（No. 515, 516, 523）のとりばにはライプツィヒのMax Schroeter書店のシールが貼られていることなどもここで指摘しておくべきだと思います。

No. 4, 535において署名者として登場するMarggraffという苗字は珍しい部類に属し、Allgemeine Deutsche Biographie（全56巻）においてはHermann Marggraffの一例があるのみです。このHermann Marggraff（1809-1864）は本目録No. 488に現れるように劇作者であると同時に劇評家として、またAllgemeines Theaterlexikon（7 Bde, Altenburg 1839-43）の共編者として名前の知られた著述家であり、1853年以降は死亡するまでライプツィヒに住んでいた人物です。毛利侯を実の子のように暖かく迎えたMarggraff未亡人（No. 4 註記参照）がこの著述家の妻であった確証は何もありませんが、可能性は捨て切れなように思われます。

ところで、高範侯がいつ、どこでドイツ語を修得したのか、またどのような契機からドイツ語圏の演劇に興味を持ったか、この点についてもいくつかの指摘すべきことがあるように思われます。『開校五十年記念学習院史』（昭和3年）によれば、学習院では明治17年9月からそれまでの英語とフランス語にドイツ語が教科として加えられ、明治19年9月には日本のドイツ語教育の草分け的存在の一人である大村仁太郎が着任しました。本目録No. 548-553は高範侯がドイツ語を学ぶ過程で使用したと考えられる教科書で、No. 552, 553には本の裏表紙内側にT. M., T. Môriの署名があります。これらの教科書と『独和辞彙』（後学堂、明治16年）、平塚定二郎『独逸文法楷梯』前・後編（独逸学協会、明治16年・17年）などの佐伯に残されている語学関係の和書が実際に学習院で使用されたものなのかどうか、これも今後の調べに譲らなければなりません。

No. 553のヘステルの上級読本は、短いながらも75名の作家の文章を載せており、この目録との関連に限ればGeothe, Schiller, Lessingをはじめ、Brentano, Castelli, Fouqué, Gottschall,

Kind, Kotzebue, Langbeinといった作家のものも含んでいます。このように高範侯はドイツ語を学ぶ過程でドイツ文学に関する知識も相当に得たものと思われます。

しかし、ドイツ語圏の演劇と高範侯とのはっきりした接点がなんであったのかということになりますと全くの不明であります。久松定弘（1857－1913）の著した『独逸戯曲大意』（明治20年）はドイツ演劇を日本で最初に紹介した文献であるとされます。高範侯が渡欧する前年に出版されたこの著書を読んだかどうかは別として、注目すべきは久松定弘が1874－77年にドイツへ留学し、西欧の文物に直接触れてきた旧今治藩主であり、高範侯と身分を同じくする人物だということであります。レッシングの演劇論に多くを負う久松の著作を仮りに読んでいたとするならば、本目録No. 531のレッシングの『ハンプルク演劇論』の筆写本は誠に興味あるものとなってきます。

以上、高範侯については推測も交えながら述べてみましたが、高範侯旧蔵洋書についてはこうした推測すら不可能な問題も多く残されています。たとえば、この目録にまとめたものが果たして高範侯の蒐集した劇文学関係のコレクションの全体をなすものかという問題、宮内省式部官を辞して佐伯に戻っていた明治26－40年を除き、亡くなる昭和14年まで住んだ淀橋区柏木の東京の屋敷にもコレクションの一部が置かれていなかったのかという問題、またいかなる事情から本目録にある書籍が佐伯の屋敷（警露館）に運ばれ、近年までそこに残されたままの状態になっていたのかという問題、さらにはTaubert印のある約400冊の購入先はどこなのかという問題…… こうした問題に答えうる記録類が出現すれば何よりのことだといえます。

以上、いろいろと述べてきましたが、何よりも特筆すべきは憲法の制定、帝国議会の開設など近代国家としての体裁をようやく整えた頃の日本に、一個人の手によってこのような文庫がすでに成立していたという事実であります。

本目録は、資料の調査段階から最終校正に至るまで、佐伯市教育委員会の山田健一氏の特段の配慮と助力を得て完成しました。氏のこの仕事で示された誠意と熱意に対し、心から敬意を表します。校正に際しては、二校でアーデルハイト・井口女氏に、三校で山中博心氏に協力を願いました。この場を借りて厚く感謝申し上げます。

実質3ヶ月という短い時間内での目録作成であったため、誤りや不備な点が随所に存在すると思いますが、その責任は編者一人にあります。容赦のないご批判とご教示を願えば幸いに存じます。

和田 達 宜

* 久松定弘については『日本におけるドイツ語文化回顧展』（郁文堂、1990年）を参考にしました。

Verzeichnis deutschsprachiger Bücher aus der
Privatbibliothek des Vicomtes Takanori Mōri
Herausgegeben von Tatsuyoshi Wada

INHALT (目 次)

I . LITERATUR	1
文 学	
A . Sämtliche Werke	1
全 集	
B . Bühnendichtung	3
劇 文 学	
1 . Dramatische Werke einzelner Autoren	3
(個人)戯曲	
2 . Musikalisch-dramatische Werke	46
[音]楽劇(台本)	
3 . Sammelband dramatischer und/oder musikalisch-dramatischer Werke	48
戯曲・楽劇[選]集	
4 . Sammlungen, dramatische Almanache und Taschenbücher	55
戯曲叢書・雑誌	
5 . Dramaturgie, Theatergeschichte u.s.w.	61
演劇論・演劇史他	
C . Märchen und Sagen	62
昔話・民話	
II . VARIA	63
諸 学	
III . LEHRBÜCHER	64
教 本 類	
IV . NACHSCHLAGEWERKE	65
辞<事>典類	
V . SONSTIGES	65
そ の 他	

Zum Verweis benutzte Bibliographien (参考書誌)

- Brümmer, Franz, Lexikon der deutschen Dichter und Prosaisten vom Beginn des 19. Jahrhunderts bis zur Gegenwart. 6. völlig neu bearb. und stark verm. Aufl. 8 Bde. Leipzig, Ph. Reclam, 1913. - Unveränd. Nachdruck, 8 Bde. (in 4.) Nendeln/Liechtenstein, Kraus Reprint, 1975.
- Goedeke, Karl, Grundriß zur Geschichte der deutschen Dichtung aus den Quellen. 2. bzw. 3. ganz neu bearb. Aufl. 15 Bde. (in 21). Dresden, L. Ehlermann, 1884-1966. Neue Folge, Bd. 1 [soweit ersch.]. Berlin, Akademie, 1955-1962. - Unveränd. Nachdruck. 22 Bde. mit einem Index-Bd. Nendeln/Liechtenstein, Kraus Reprint, 1975-1979.
- Hirschberg, Leopold, Der Taschengoedeke. Bibliographie deutscher Erstausgaben. Verb. Ausgabe. 2. Aufl. München 1990. = dtv 3026.
- Holzmann, Michael/Bohatta, Hans, Deutsches Anonymen-Lexikon. Weimar, Gesellschaft der Bibliophilen, 1902-1928. 7 Bde. - Unveränd. Nachdruck. Hildesheim, Olms, 1984.
- Killy, Walter, Literaturlexikon. Autoren und Werke deutscher Sprache. Bd. 1-9 ff. Gütersloh/München, Bertelsmann, 1988-1991 ff.
- Kosch, Wilhelm, Literatur-Lexikon. Biographisches und bibliographisches Handbuch. 2. vollst. Neubearb. und stark erwei. Aufl. 4 Bde. Bern, Francke, 1949-1958.
- Kosch, Wilhelm, Deutsches Literatur-Lexikon. Biographisch-bibliographisches Handbuch. 3., völlig neu bearb. Aufl. Hrsg. von Bruno Berger und Heinz Rupp. Bd. 1-13 ff. Bern und München, Francke, 1968-1991 ff.
- Meyer, Reinhart, Bibliographia dramatica et dramaticorum. Kommentierte Bibliographie der im ehemaligen deutschen Reichsgebiet gedruckten und gespielten Dramen des 18. Jh. nebst deren Bearbeitungen und Übersetzungen und ihrer Rezeption bis in die Gegenwart. 1. Abteilung: Werkausgaben, Sammlungen, Reihen. 3 Bde. Tübingen, M. Niemeyer, 1986.
- Wilpert, Gero von, Deutsches Dichterlexikon. Biographisch-bibliographisches Handwörterbuch zur deutschen Literaturgeschichte. 2., erwei. Aufl. Stuttgart 1976. = Kröners Taschenausgabe Bd. 288.
- Wilpert, Gero von/Gühning, Adolf, Erstausgaben deutscher Dichtung. Eine Bibliographie zur deutschen Literatur 1600-1960. Stuttgart, A. Kröner, 1967.
- Gesamtverzeichnis des deutschsprachigen Schrifttums (GV) 1700-1910. Bearb. unter Leitung von [Peter Geils,] Hilmar Schmuck und Willi Gorzny. 160 Bde. und Nachträge (in 161 Bdn.). München/New York/London/Paris, K.G. Saur, 1979-1987.

Sekundärliteratur in Auswahl (参考文献)

- Alexander, Robert J., Das deutsche Barockdrama. Stuttgart 1984. = Sammlung Metzler Bd. 209.
- Alker, Ernst, Die deutsche Literatur im 19. Jahrhundert (1832-1914). Unveränd. Nachdruck der 3. Aufl. Stuttgart 1981. = Kröners Taschenausgabe Bd. 339.

- Cowen, Roy C., Das deutsche Drama im 19. Jahrhundert. Stuttgart 1988. = Sammlung Metzler Bd. 247.
- Dietrich, Margret, Das moderne Drama. Strömungen, Gestalten, Motive. 3., überarb. und erweit. Aufl. Stuttgart 1974. = Kröners Taschenausgabe Bd. 220.
- Frenzel, Herbert A., Geschichte des Theaters. Daten und Dokumente 1470-1890. 2., durchgeseh. und stark erweit. Aufl. München 1984. = dtv 4302.
- Gregor, Joseph, Der Schauspielführer. 13 Bde. Stuttgart, Hiersemann, 1953-1986.
- Guthke, Karl S., Das deutsche bürgerliche Trauerspiel. 4., durchgeseh. Aufl. Stuttgart 1984. = Sammlung Metzler Bd. 116.
- Herzfeld, Friedrich, Ullstein Lexikon der Musik. 8., neu bearb. Aufl. Frankfurt a.M./Berlin/Wien, Ullstein, 1976.
- Jäger, Georg/Schönert, Jäger (Hrsg.), Die Leihbibliothek als Institution des literarischen Lebens im 18. und 19. Jahrhundert. Organisationsformen, Bestände und Publikum. Hamburg, E. Hauswedell, 1980. (Wolfenbütteler Schriften zur Geschichte des Buchwesens. Bd. 3.)
- Koch, Hans-Albrecht, Das deutsche Singspiel. Stuttgart 1974. = Sammlung Metzler Bd. 133.
- Kruse, Georg Richard, Reclams Opernführer. 2., erweit. Aufl. Leipzig, Ph. Reclam, o.J. [um 1929].
- Lüdke, Gerhard, Nekrolog zu Kürschners Literatur-Kalender 1901-1935. Berlin und Leipzig, de Gruyter, 1936. - Nachdruck, ebenda, 1973.
- Martino, Alberto, Die Deutsche Leihbibliothek. Geschichte einer literarischen Institution (1756-1914). Mit einem zusammen mit Georg Jäger erstellten Verzeichnis der erhaltenen Leihbibliothekskataloge. Wiesbaden, O.Harrassowitz, 1990. (Beiträge zum Buch- und Bibliothekswesen. Bd. 29.)
- Melitz, Leo, Die Theaterstücke der Weltliteratur ihrem Inhalt nach wiedergegeben. 4. Aufl. 3 Teile in 1 Bd. Berlin, Globus, o.J.
- Prang, Helmut, Geschichte des Lustspiels. Von der Antike bis zur Gegenwart. Stuttgart 1968. = Kröners Taschenausgabe Bd. 378.
- Steinmetz, Horst, Die Komödie der Aufklärung. 3., bearb. Aufl. Stuttgart 1978. = Sammlung Metzler Bd. 47.
- Wischer, Erika (Hrsg.), Propyläen Geschichte der Literatur. Literatur und Gesellschaft der westlichen Welt. 6 Bde. Frankfurt a.M./Berlin, Ullstein, 1981-1984. - Sonderausgabe, Berlin, Propyläen, 1988. Insbes. Bd. 4: Aufklärung und Romantik 1700-1830 bzw. Bd. 5: Das bürgerliche Zeitalter 1830-1914.

凡 例

- 一、 本目録各項の配列は、原則として著者名のABC順とした。一著者のものが二点以上に及ぶ場合は、その間の配列を出版年順にした。編纂ものなど一部の資料については書名〈誌名〉のABC順、作者不詳のままAnonymaとしてまとめた一部の匿名資料については出版年順にした。

- 一、 資料各冊の昌頭に伏した一連番号は本整理までの仮番号である。

- 一、 記載の事項は、原則として著者、書名、巻数、出版地、出版元（または印刷所）、出版年、サイズ、ページ数、製本状態、押印の順とした。字体をイタリックに変えて印刷した部分は、編者による書誌学的な註記である。また、全集など一冊に複数の作品が収められている刊本の場合は、最後にその内容を明示した。

- 1) 著者名は、原則として他の記載事項から行を独立させ、各資料の実際の表記とは関わりなく、フルネームで掲げることにした。これは同一著者のものが何点かに及ぶ場合、著者名が匿名や偽名〈筆名〉にされたり、実名でもイニシャルの使用範囲が一定しないなどのため、実際の表記に忠実に従うと煩雑を極めること、また応分の紙幅が必要となることを心配したための措置である。ただし、匿名、偽名〈筆名〉の出版である場合にはそのことが分かるように配慮した。また、各作家の初出の箇所では生歿年を可能な限り併記した。
- 2) 書名、刊記については各資料のタイトルページの綴字法、句読法に従うことを原則とし、誤植、脱字などでないことを断る必要があると思われる場合には補註を施してそのことを明確にし、[so]などのようにした。ただし、変母韻の旧字体は活字調達上の問題からä, ö, ü, äuとの区別を示すことを断念した。現行の正書法にならって表記を統一せず、歴史的な表記を尊重したこと理由は、本文庫の各資料がすべて正書法確立以前の刊本であり、書記法の推移を時代的かつ地域的に跡づけることをある程度可能にする語史的資料の一つでもあると判断したためである。
- 3) サイズはセンチで、よこ×たての実測値(小数点以下四捨五入)を示した。そのため、beschnittenとunbeschnittenの区別は割愛した。実寸と(たての長さを基準とした)本の規格との関係は次の通りである。

15 cm 以下	16°ないし12°	23.5 cm—25 cm	Gr.—8°
15—18 cm	Kl.—8°	25 cm —35 cm	4°
18—23.5 cm	8°		

- 4) ページ数の表示は原則として各資料の表示法に従った。それゆえEinzelpaginierungになっているものはその通り示した。ただし、本ページ（アラビア数字）以前の無ページ部分についてはローマ数字で示すか、既存のローマ数字に加算した。巻末の無ページ部分は、それが目次、正誤表などである場合には（ ）内に+記号を付したアラビア数字で、また、それが出版広告のページである場合には（ ）内に無記号のアラビア数字でページ数を示した。

- 一、 資料の書誌学的な特定に関する記事は斜字体部分の冒頭に配した。特に断りのない場合は、資料がそこに示した書誌の当該箇所に掲げられている刊本と同定されるものであることを意味する。

- 一、 本目録においては初版本と明記することは特に慎重を期し、複数の書誌との対照をおこなって、出版地、出版年だけでなく、出版元、ページ数、サイズなどの点でも異同のないことが確認された場合に限りErste Ausgabeと付記している。

- 一、 資料のタイトルページにもともと含まれる（ ）と区別するため、編者の補註は原則として[]でくくったが、混同される恐れのない範囲では(anonym)のように（ ）も使用した。

- 一、 オリジナルでない合体は、+記号とAngeb.の略号を用いてそれであることを示した。

- 一、 書名のあとに添えた(a), (b), (c)…の記号は貸本業者特製の分冊本の分割部分を示す。

Abkürzungen (略語表)

Abt.	= Abteilung(en)	kart.	= kartoniert
a. d. T.	= auf der Titelseite	kolor.	= koloriert
a. d. Vs.	= auf dem Vorsatzpapier	Komm.	= Kommission
angeb.	= angebunden	Komp.	= Komponist
Aufl.	= Auflage	Lwd.	= Leinenband
Aufz.	= Aufzug, Aufzüge	N. N.	= nomen nescio (irgend jemand)
Bd.	= Band	OHldr.	= Original-(Verleger-) Halblederband
Bde.	= Bände	o. J.	= ohne Jahr
Bdn.	= Bänden	OLwd.	= Original-(Verleger-) Leinenband
Beamb.	= Bearbeiter, bearbeitet	o. O.	= ohne Ort
Beil.	= Beilage(n)	o. Verl.	= ohne Verlag
Bg.	= Bogen	Portr.	= Porträt
Bildn.	= Bildnis	Ppbd.	= Pappband
Bl.	= Blatt	Rad.	= Radierung(en)
br.	= broschiert	Rt.	= Rückentitel
Buchh.	= Buchhandlung	S.	= Seite(n)
Comm.	= Commission	Sp.	= Spalte(n)
Ders.	= Derselbe	St.	= Stempel
eig.	= eigentlich	St.(1)	= TAUBERT'S LEIHBIBLIOTHEK
Einbd.	= Einband	St.(2)	= Lesebibliothek von J. G. Taubert
erg.	= ergänzt	St.(3)	= Takanori Mōri • Tokyo, Japan
ersch.	= erschienen	St.(4)	= Müllersche Lesebibliothek
Expl.	= Exemplar	St.(5)	= EIGENTUM DES LITERARISCHEN MUSEUM
Faks., Facs.	= Faksimile	St.(6)	= Johann Gottfried Richter
ganzs.	= ganzseitig	St.(7)	= LEIHBIBLIOTHEK von R. HARTLEP
gedr.	= gedruckt	Titelbl.	= Titelblatt
gest.	= gestochen	Titelku.	= Titeltupfer
Goldpräg.	= Goldprägung	Titelvign.	= Titelvignette
Hldr.	= Halblederband	u. a.	= und andere, unter anderem
Hlwd.	= Halbleinwandband	umgearb.	= umgearbeitet
Hrsg.	= Herausgeber, herausgegeben	unveränd.	= unverändert
illumin.	= illuminiert	verb.	= verbessert
Illust.	= Illustration(en)	Vergold.	= Vergoldung
Jg.	= Jahrgang	verm.	= vermehrt
		Vign.	= Vignette(n)

I . LITERATUR

A. Sämtliche Werke

Goethe, Johann Wolfgang (von) (1749 - 1832)

- 1 Goethes Werke. Illustriert von ersten deutschen Künstlern. Hrsg. von H[einrich] Düntzer. Bd. 3 [der von 1882 - 1886 erschienenen fünfbändigen Ausgabe]. Stuttgart und Leipzig, Deutsche Verlags-Anstalt (vorm. E. Hallberger), o. J. 19 × 27 cm. XI, 470, (1) S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von C. Karger, E. Bosch, E. Wagner u.a. OLwd. mit reicher Rücken- und Deckelgoldprägung und Goldschnitt. St. (3) a.d.Vs.
Goedeke Bd. IV/3, S. 22, (§ 225, A, 6.) D. - Inhalt: Clavigo. Ein Trauerspiel. - Stella. Ein Trauerspiel. - Die Geschwister. Schauspiel in einem Akt. - Leiden des jungen Werthers. - Wilhelm Meisters Lehrjahre.
- 2 ———Bd. 4. Stuttgart und Leipzig, Deutsche Verlags-Anstalt, o. J. 19 × 27 cm. X, 472 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von E. Wagner, C. Karger, C. Brünner u. a. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 3]. St. (3) a.d.Vs.
Inhalt: Wilhelm Meisters Wanderjahre oder die Entsagenden. Ein Roman. - Die Wahlverwandtschaften. Ein Roman. - Unterhaltungen deutscher Ausgewanderten. - Novelle. - Die guten Weiber. - Reise der Söhne Megaprazons. Fragmente.
- 3 ———Bd. 5. Stuttgart und Leipzig, Deutsche Verlags-Anstalt, o.J. 19 × 27 cm. XII, 532 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von C. Klimsch, K. Kögler, P. Grotiohann u. a. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 3]. St. (3) a.d.Vs.
Inhalt: Aus meinem Leben. Wahrheit und Dichtung. - Reineke Fuchs.
- 4 Goethes sämtliche Werke. Neu durchgesehene und ergänzte Ausgabe in 36 Bänden. [Hrsg. von Wilhelm Vollmer.] Mit Einleitungen von Karl Goedeke. Bd. 1. Stuttgart, J. G. Cotta/Gebrüder Kröner, o.J. (1882 [- 1885]). 12 × 18 cm. 304 S. mit 1 Portr. des Dichters. OLwd. mit Rt. und Rvergold. Mit handschriftlicher Widmung. St. (3) a.d.T.
Goedeke Bd. IV/3, S. 17, (§ 235, A, 4.) V. - Die Widmung a.d.Vs. lautet: „Meinem lieben Pflegesohn Takanori Mōri von seiner deutschen Mutter. E. verw. Dr (?) Marggraff. Leipzig, September 1888.“ - Inhalt: Gedichte. Erster Theil.

Körner, Theodor (1791 - 1813)

- 5 Theodor Körner's sämtliche Werke. Hrsg. von Heinrich Laube. Illustrierte Pracht-Ausgabe. Bd. 1 [von 2]. Wien, Leipzig und Prag, S. Bensinger, 1882. 19 × 27 cm. IV, 440 S. mit 1 Portr. und zahlr. (teils blattgr.) Illustr. OLwd. mit reicher Rücken- und Deckelgoldprägung. St. (3) a.d.T.
Goedeke Bd. VII, S. 844, 40. - Inhalt: Leyer und Schwert. - Nachtrag aus des Dichters Nachlasse. - Knospen. - Vermischte Gedichte. - Epische Fragmente. - Gelegenheits-Gedichte. - Unterlegte Texte zu gegebener Musik. - Nachtrag, Ungedrucktes. - Jugendscherze. - Räthsel, Charaden, Anagramme, Homonyme, Logographe, Palindrome. - Erzählungen. - Mündliche Erzählungen. - Zugabe. - Briefe.
- 6 ———Bd. 2. (Dramatische Werke.) Wien, Leipzig und Prag, S. Bensinger, 1882. 19 × 27 cm. IV, 426 S. mit zahlr. (teils blattgr.) Illustr. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) a.d.T.
Goedeke Bd. VII, S. 844, 40 (mit falscher Jahresangabe: 1883). - Inhalt: Toni. - Die Sühne. - Zriny. - Hedwig. - Rosamunde. - Joseph Heyderich oder Deutsche Treue. - Die Braut. - Der grüne Domino. - Der Nachtwächter. - Der Vetter aus Bremen. - Die Gouvernante. - Das Fischermädchen oder Haß und Liebe. - Der vierjährige Posten. - Die Bergknappen. - Alfred der Große. - Der Kampf mit dem Drachen. - Die Blumen.

Lessing, Gotthold Ephraim (1729 - 1781)

- 7 Lessing's Werke. Hrsg. von Heinrich Laube. Illustrierte Pracht-Ausgabe. Bd. 1 [von 5]. Wien, Leipzig und Prag, S. Bensinger, o.J. (1884). 19 × 27 cm. XIV, 424 S. mit 1 Portr. und zahlr. (teils blattgr.) Vign. und Textillustr. OLwd. mit reicher Rücken- und

Deckelgoldprägung. St. (3) a.d.T.

Goedeke Bd. IV/1, S. 346, 22. - *Inhalt: Lessing's Leben.* [Unterzeichn.:] Wien, 27. Mai 1882. *Heinrich Laube.* (S. III - XVI.) - *Sämmtliche Gedichte und Fabeln.* - *Lustspiele* [wie: *Damon.* - *Der junge Gelehrte.* - *Die Juden.* - *Der Misogyn.* - *Die alte Jungfer.* - *Der Freigeist.* - *Der Schatz.*].

- 8 ——— Bd. 4 und 5 [in 1 Bd.]. Wien, Leipzig und Prag, S. Bensinger, o.J. (1884). 19 × 27 cm. II, 248; 279 S. mit zahlr. (teils blattgr.) Vign. und Textillustr. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) a.d.T.

Inhalt: (Bd. 4:) *Laokoon.* - *Sophokles. Erstes Buch.* - *Vom Alter der Oelmalerei aus dem Theophilus Presbyter.* - *Briefe antiquarischen Inhalts.* - (Bd. 5: unter anderem) *Abhandlungen über die Fabel.* - *Pope ein Metaphysiker.* - *Eine Duplik.* - *Eine Parabel.* - *Axiomata, wenn ...* - *Anti-Goeze. Das ist: Nothgedrungenener Beiträge ...* - *Ernst und Falk. Gespräche für Freimäurer.* - *Wie die Alten den Tod gebildet. Eine Untersuchung.*

Schiller, Friedrich (von) (1759 - 1805)

- 9 Schillers Werke. Illustriert von ersten deutschen Künstlern. Hrsg. von J.G. Fischer. Bd. 1 [von 4]. Stuttgart und Leipzig, E. Hallberger, o.J. (1879). 19 × 27 cm. XIX, 435 S. mit 1 Portr. und zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von E. Klimsch, H. Kaulbach, W. Volz u.a. OLwd. mit reicher Rücken- und Deckelgoldprägung und Goldschnitt. St. (3) auf dem Schmutztitel.

Goedeke Bd. V, S. 147. - *Inhalt: Gedichte.* - *Semele.* - *Die Räuber. Ein Schauspiel.* - *Die Verschwörung des Fiesco zu Genua. Ein republikanisches Trauerspiel.* - *Kabale und Liebe. Ein bürgerliches Trauerspiel.*

- 10 ——— Bd. 2. Stuttgart und Leipzig, E. Hallberger, o.J. (1879). 19 × 27 cm. VIII, 447 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von H. Kaulbach, F. Keller, C. Häberlin u. a. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) auf dem Schmutztitel.

Inhalt: Don Carlos, Infant von Spanien. Ein dramatisches Gedicht. - *Der Menschenfeind. Ein Fragment.* - *Wallenstein. Ein dramatisches Gedicht.* - *Maria Stuart. Ein Trauerspiel.* - *Die Jungfrau von Orleans. Eine romantische Tragödie.* - *Die Braut von Messina oder die feindlichen Brüder. Ein Trauerspiel mit Chören.*

- 11 ——— Bd. 3. Stuttgart und Leipzig, E. Hallberger, o.J. (1879). 19 × 27 cm. VIII, 450 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von W. Volz, C. Hammer, C. Gehrts u.a. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) auf dem Schmutztitel.

Inhalt: Wilhelm Tell. Ein Schauspiel. - *Huldigung der Künste. Ein lyrisches Spiel.* - *Iphigenie in Aulis.* - *Scenen aus den Phönizierinnen des Euripides.* - *Macbeth. Ein Trauerspiel von Shakespeare.* - *Turandot, Prinzessin von China.* - *Der Parasit, oder die Kunst, sein Glück zu machen. Ein Lustspiel nach dem Französischen.* - *Der Neffe als Onkel. Lustspiel in drei Aufzügen. Aus dem Französischen des Picard.* - *Phädra. Ein Trauerspiel von Racine.* - *Nachlaß.* - *Prosaische Schriften.*

- 12 ——— Bd. 4. Stuttgart und Leipzig, E. Hallberger, o.J. (1879). 19 × 27 cm. VIII, 423 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. von H. Knackfuß, C. Brünner, C. Häberlin u.a. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) auf dem Schmutztitel.

Inhalt: Geschichte des Abfalls der Niederlande. - *Geschichte des dreißigjährigen Kriegs.* - *Herzog von Alba bei einem Frühstück auf dem Schlosse zu Rudolstadt im Jahr 1547.*

Shakespeare, William (1564 - 1616)

- 13 Shakespeare's sämmtliche Werke. Eingeleitet und übersetzt von A.W. Schlegel, Fr. Bodenstedt, N. Delius, F.A. Gelbcke, O. Gildemeister, P. Heyse u.a. Illustriert von John Gilbert. Bd. 1 [von 4]. Stuttgart, E. Hallberger, o.J. (1874 [bis 1875]). 19 × 27 cm. 1 Bl., XVIII, 506 (+1) S. mit 1 Portrait und zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. OLwd. mit Rücken- und Deckelgoldprägung und Goldschnitt. St. (3) a.d.T.

Inhalt: Shakespeare's Leben und Schaffen, von Friedrich Bodenstedt. (S. III - XVIII.) - *König Lear.* - *König Heinrich der Achte.* - *Antonius und Kleopatra.* - *Othello.* - *Zähmung*

einer Widerspenstigen. - Cymbelin. - Die beiden Edelleute von Verona. - Die Komödie der Irrungen. - Das Wintermärchen.

- 14 ——— Bd. 2. Stuttgart, E. Hallberger, o.J. (1874/75). 19 × 27 cm. IV, 531 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) a.d.T.

Inhalt: Viel Lärmen um Nichts. - Coriolanus. - Verlorene Liebesmüh. - Troilus und Cressida. - Macbeth. - Maß für Maß. - Ende gut, Alles gut. - Titus Andronicus. - Romeo und Julia. - Die lustigen Weiber von Windsor.

- 15 ——— Bd. 3. Stuttgart, E. Hallberger, o.J. (1874/75). 19 × 27 cm. IV, 495 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) a.d.T.

Inhalt: Timon von Athen. - Perikles, Fürst von Tyrus. - König Johann. - König Richard der Zweite. - König Heinrich der Vierte. - König Heinrich der Fünfte. - König Heinrich der Sechste.

- 16 ——— Bd. 4. Stuttgart, E. Hallberger, o.J. (1875). 19 × 27 cm. IV, 479 S. mit zahlr. (teils ganzs.) Vign. und Textillustr. OLwd. [mit gleicher Ausstattung wie Bd. 1]. St. (3) a.d.T.

Inhalt: König Richard der Dritte. - Julius Cäsar. - Was ihr wollt. - Der Kaufmann von Venedig. - Wie es euch gefällt. - Der Sturm. - Der Sommernachtstraum. - Hamlet. - Lyrische und epische Dichtungen.

B. Bühnendichtung

1. Dramatische Werke einzelner Autoren

Albrecht, Johann Friedrich Ernst (1752 - 1814)

- 17 — Neue Schauspiele. Für das Churfürstlich sächsische Hoftheater. Bd. 2 [der zweibändigen Ausgabe von 1795]. Leipzig, A.G.Liebeskind, 1795. 11 × 16 cm. II, 160, 174, 112 S. Br. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. V, S. 502, 41. - Inhalt: Die beschwerlichen Brüder. - Wilhelmine Relast. - Alle strafbar.

- 18 — (Bearb.) Der Domschütz und seine Gesellen. Schauspiel in 5 Aufzügen. Nach Cramers Roman bearbeitet. Hamburg, G.Vollmer, o.J. [1809]. 10 × 16 cm. 208 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. V, S. 503, 83.

Amalie Marie Friederike Auguste, Herzogin zu Sachsen (1794 - 1870)

- 19 — (anonym) Original-Beiträge zur deutschen Schaubühne. Zum Besten des Frauenvereins zu Dresden. Bd. 1 [von 6]. Dresden und Leipzig, Arnold, 1836 [bis 1842]. 12 × 19 cm. II, 420 S. Ppbd. St. (1) a.d.T.

Goedeke NF Bd. I, S. 214, 37; Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 91, 2983. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Lüge und Wahrheit. Schauspiel in vier Aufzügen. - Die Braut aus der Residenz. Lustspiel in zwei Aufzügen. - Der Oheim. Schauspiel in fünf Aufzügen.

- 20 — Bd. 2. Dresden und Leipzig, Arnold, 1837. 12 × 19 cm. II, 438 S. Ppbd. St. (1) a.d.T.

Goedeke NF Bd. I, S. 215, 37, 2; Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 132, 4452. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Die Fürstenbraut. Schauspiel in fünf Aufzügen. - Der Landwirth. Lustspiel in vier Aufzügen. - Der Verlobungsring. Lustspiel in vier Aufzügen.

- 21 — Bd. 3. Dresden und Leipzig, Arnold, 1838. 12 × 19 cm. 443, (3) S. Ppbd. St. (1) a.d.T.

Goedeke NF Bd. I, S. 215, 37, 3; Holzmann/Bohatta Bd. IV, S. 434, 13506. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Der Zögling. Lustspiel in vier Aufzügen. - Vetter Heinrich. Schauspiel in fünf Aufzügen. - Der Unentschlossene. Lustspiel in 4 Aufzügen. (Neu bearbeitet.)

- 22 — Bd. 4. Dresden und Leipzig, Arnold, 1839. 11 × 18 cm. II, 454 S. Hldr. St. (1), (3) a. d.T.

Goedeke NF Bd. I, S. 215, 37, 4; Holzmann/Bohatta Bd. III, S. 107, 3475. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Der Majorratserbe. Lustspiel in vier Aufzügen. - Der Pflegevater. Schauspiel in vier Aufzügen. - Das Fräulein vom Lande. Lustspiel in fünf Aufzügen.

- 23 — Bd. 5. Dresden und Leipzig, Arnold, 1841. 12 × 19 cm. II, 398 S. Ppbd. St. (1) a. d.T.

Goedeke NF Bd. I, S. 215, 37, 5; Holzmann/Bohatta Bd. IV, S. 252, 7941. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Unbelesene. Lustspiel in vier Aufzügen. - Die Stieftöchter. Lustspiel in vier Aufzügen. - Pflicht und Liebe. Schauspiel in zwei Aufzügen.

- 24 — Bd. 6. Dresden und Leipzig, Arnold, 1842. 11 × 19 cm. II, 408 S. Ppbd. St. (1) a. d.T.

Goedeke NF Bd. I, S. 215, 37, 6. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Capitain Firnewald. Lustspiel in vier Aufzügen. - Die Heimkehr des Sohnes. Schauspiel in vier Aufzügen. - Folgen einer Gartenbeleuchtung. Lustspiel in drei Aufzügen.

Andersen, Hans Christian (1805 - 1875)

- 25 — Raphaella. Tragödie in fünf Acten. Leipzig, C.B.Lorck, 1847. 11 × 16 cm. 116 S. [= Vom Verfasser selbst besorgte gesammelte Werke. Bd. 22.] Hldr. St. (1) a. d.T.

Angely, Louis (1787 - 1835)

- 26 — Paris in Pommern, oder Die seltsame Testaments-Klausel. Vaudeville-Posse in 1 Act und mit bekannten Melodien versehen. Berlin, L.Fernbach, 1840. 11 × 17 cm. 77 S. mit kolor. Titelbild. Kart. St. (1) a. d.T.

Goedeke Bd. XI/1, S. 449, 4a; Hirschberg S. 22; Wilpert S. 16. - Erste Ausgabe.

Apel, Johann August (1771 - 1816)

- 27 — (anonym) Kunz von Kauffung. Trauerspiel in fünf Akten. Leipzig, C.G.Weigel, 1809. 13 × 21 cm. 186 S. Kart., ohne Vorderdeckel. St. (2) a. d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 460, 6; Hirschberg S. 23; Wilpert/Gühling S. 21, 4 (irrig: „Kunz von Kauffungen“ bei diesen Bibliographien, verwechselt (?) mit dem gleichbetitelten Schauspiel von Joseph Alois Gleich, das 1808 in Wien bei Wallishausser erschien). - Eine andere, auch 1809 in Dresden und Leipzig bei Arnold erschienene Ausgabe trug den Titel: Kunz von Kaufung, und hier Apel als Verfasser mit Namen. Vgl. Arnoldsche Verlagsanzeige 1838 [wie oben Nr. 21].

Artner, Maria Therese von (1772 - 1829)

- 28 — Die That. Trauerspiel in fünf Akten. Der Schuld von Adolf Müllner erster Theil. Leipzig, Hartleben, 1817. XII, 214, (2) S. Hldr. St. (2) a. d.T.

Goedeke Bd. VII, S. 79, 9; Hirschberg S. 28.

Auerbach, Berthold (1812 - 1882)

- 29 — Andree Hofer. Geschichtliches Trauerspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, G.Wigand, 1850. 13 × 20 cm. 165 S. Hldr. St. (1) a. d.T.

Goedeke NF. Bd. I, S. 488, 211; Wilpert/Gühling S. 31, 12. - Erste Ausgabe.

Auffenberg, Joseph Freyherr von (1798 - 1857)

- 30 — König Erich. Ein Trauerspiel in fünf Acten. Bamberg und Würzburg, Goebhardt, 1820. 12 × 18 cm. II, 234 S. Hldr. St. (2) a. d.T.

Godeke Bd. XI/1, S. 200, 6; Wilpert/Gühling S. 33, 5. - Erste Ausgabe.

Aurbacher, Ludwig (1784 - 1847)

- 31 — Dramatische Versuche. München, J.Lindauer, 1826. 13 × 21 cm. 288 S. Hldr. St. (2), (3) a.d.T.
Goedeke Bd. XII, S. 551, 24; Wilpert/Gühning S. 35, 26. - Erste Ausgabe. - Enthält: Fürstenweihe. - Fürstenkampf. - Fürstensieg.

Babo, Joseph Marius von (1756 - 1822)

- 32 — Otto von Wittelsbach, Pfalzgraf in Bayern. Ein vaterländisches Trauerspiel in fünf Aufzügen. Berlin und Leipzig, o.Verl., 1782. 10 × 17 cm. VIII, 216 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Lengenfelder, Johann Nepomuk (1753 - 1783) (anonym), Ludwig der Vierte, genannt der Bajer. Ein Nationalschauspiel in fünf Aufzügen. Verbes. vom Verfasser selbst besorgte Ausgabe. München, J.A.v. Crätz, 1782. 120 S.
(Zu Babo:) Als Erstausgabe gibt Wilpert/Gühning (S. 38, 10) die 1782 in München bei Strobl erschienene Ausgabe an. - (Zu Lengenfelder:) Holzmann/Bohatta Bd. III, S. 91, 2971; Goedeke Bd. V, S. 359, 24, 3.
33 — Otto von Wittelsbach. Schauspiel in fünf Aufzügen. Berlin, Voß, 1793. Neue verb. und rechtmäßige Aufl. 11 × 17 cm. II, 182 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 262, 4, 7.

Bärmann, Georg Nikolaus (1785 - 1850)

- 34 — Alexander von Soltwedel oder der Hansa Begründung. Ein vaterländisches Schauspiel in 4 Acten. Mit einem Vorbericht und Anmerkungen. Bremen, J.G.Heyse, 1817. 11 × 16 cm. 128 S. mit Titelvign. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 398, 2; Hirschberg S. 33. - Erste Ausgabe.
35 — Die glücklichen Bettler. Ein tragikomisches Maskenspiel in fünf Aufzügen. Frei nach dem Italienischen des Carlo Gozzi für die deutsche Bühne bearbeitet. Leipzig, Chr.E. Kollmann, 1819. 11 × 16 cm. II, 162 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IX, S. 398, 4; Hirschberg S. 33 - Erste Ausgabe.

Beck, Heinrich (1760 - 1803)

- 36 — Das Herz behält seine Rechte. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Auf der Mannheimer Nationalbühne den 25. Oktober 1787 zum erstenmal aufgeführt. Berlin, G.J.Decker und Sohn, 1788. 11 × 17 cm. 117 S. mit Titelvign. Ppbd. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Kaffka (eig. Engelmann), Johann Christoph (1754 - 1815), Sechs Freyer und keine Braut. Ein Lustspiel in drey Aufzügen. Magdeburg, J.V.Hessenland, 1787. 190 (+ 1) S.
(Zu Beck:) Goedeke Bd. V, S. 290, 13. - Erste Ausgabe. - (Zu Kaffka:) Goedeke Bd. V, S. 262, 4. - Erste Ausgabe.
37 — Die Schachmaschine. Lustspiel in vier Aufzügen. Nach dem Englischen frey bearbeitet. Berlin, J.Fr.Anger, 1798. Rechtmäßige Aufl. 12 × 18 cm. 197 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 291, 13, 8.

Beck, Karl Isidor (1817 - 1879)

- 38 — Saul. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, L.H.Bösenberg, 1841. 12 × 18 cm. IV, 140, (2) S. Br. St. (1) a.d.T.
Brümmer Bd. I, S. 159; Wilpert S. 51.

Beer, Michael (1800 - 1833)

- 39 — Struensee. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Zum Erstenmale dargestellt auf dem königlichen Theater zu München den 27. März 1828. Stuttgart und Tübingen, Cotta, 1847. Zweite mit einem Nachtrag vermehrte Auflage. 12 × 18 cm. XII, 207 S. OLwd. mit Rt. und Rvergold. St. (3) a.d.T.

Beil, Johann David (1754 - 1794)

- 40 — Die Gauner. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Zürich und Leipzig, Ziegler und Söhne, 1794. 10 × 16 cm. II, 190 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Ders., Curt von Spartau. Ein Schauspiel in vier Aufzügen. Zürich und Leipzig, Ziegler und Söhne, 1794. II, 128 S.
(Zu „Die Gauner“:) Goedeke Bd. V, S. 289, 11, 1 (Erstausgabe unter dem Titel: *Die Spieler, Mannheim 1785*). - (Zu „Curt“:) Goedeke Bd. V, S. 290, 11, 5.
- 41 — Sämmtliche Schauspiele. Bd. 1 [von 2]. Zürich und Leipzig, Ziegler und Söhne, 1794. 10 × 16 cm. II, 160, 190, 48 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 290, 11, 8; Hirschberg S. 44; Meyer Bd. 1, S. 35. - Inhalt: *Die Familie Spaden. Lustspiel in vier Aufzügen*. - *Die Gauner*. - *Dietrich von Ruben. Ein Lustspiel in einem Aufzuge*.
- 42 — Bd. 2. Zürich und Leipzig, Ziegler und Söhne, 1794. 10 × 16 cm. II, 159, 128, 128 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Inhalt: *Liebe um Laune. Ein Originallustspiel in drey Aufzügen*. - *Curt von Spartau*. - *Die Freystatt müder Pilger. Ein Schauspiel in vier Aufzügen*.
- 43 — Bettelstolz. Ein Original-Lustspiel in fünf Aufzügen. Zürich und Leipzig, Ziegler und Söhne, 1797. 10 × 16 cm. II, 182 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Anonymus, Die holländische Sauce. Eine lauchstädtische Badegeschichte. Halle, gedr. bei Fr.W.Michaelis, 1782. X, 84 S. Zueignung an F. Gäde. Halle, 1782. Unterz.: K.F. Mr.
(Zu „Bettelstolz“:) Goedeke Bd. V, S. 290, 11, 4 (Erstausgabe unter dem Titel: *Armuth und Hoffahrt, Berlin 1789*). - (Zu „Sauce“:) Goedeke Bd. IV/2, S. 746, 175.
- 44 — Die Einöde. Ein Schauspiel in vier Aufzügen. Mannheim, T.Loeffler, 1809. 12 × 19 cm. 91 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 290, 11, 6 (Erstausgabe: *Münster 1791*).

Benedix, Julius Roderich (1811 - 1873)

- 45 — Gesammelte dramatische Werke. Bd. 1 [der 27bändigen Ausgabe von 1846 - 1875]. Leipzig, J.J.Weber, 1846. 11 × 17 cm. XII, 310, (2) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Brümmer Bd. I, S. 180; Hirschberg S. 44; Kosch Bd. I, Sp. 386 f.; Wilpert S. 55. - Inhalt: *Die Männerfeindinnen. Lustspiel in fünf Aufzügen (1836 - 1837)*. - *Das bemooste Haupt oder Der lange Israël. Schauspiel in vier Aufzügen (1838)*. - *Die Sklaven. Drama in drei Aufzügen (1838)*.
- 46 — Bd. 5 (a). Leipzig, J.J.Weber, 1849. 11 × 17 cm. S. I - II; 1 - 118, 151 - 244 [unvollständig = das erste Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält zwei Dramen: *Die Banditen. Ein Lustspiel in vier Aufzügen (1847)*. - *Die Sündenböcke. Lustspiel in drei Aufzügen (1848)*.
- 47 — Bd. 5 (b). 11 × 17 cm. S. 119 - 150 [unvollständig = das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält: *Eigensinn. Lustspiel in einem Aufzuge (1847)*.
- 48 — Bd. 6. Leipzig, J.J.Weber, 1851. 11 × 17 cm. IV, 275 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Die Lügnerin. Lustspiel in einem Aufzuge (1848)*. - *Die Pensionärin. Lustspiel in drei Aufzügen*. - *Der Kaufmann. Schauspiel in fünf Aufzügen (1849)*.
- 49 — Bd. 8. Leipzig, J.J.Weber, 1854. 11 × 17 cm. II, 338 S. Hldr. St. (5) a.d.T.
Inhalt: *Die Künstlerin. Lustspiel in einem Aufzuge (1851)*. - *Angela. Liederspiel in einem Aufzuge (1851)*. - *Das Gefängniß. Lustspiel in vier Aufzügen (1851)*. - *Der Sänger. Liederspiel in einem Aufzuge (1852)*. - *Die Phrenologen. Lustspiel in einem Aufzuge (1852)*. - *Das Lügen. Lustspiel in drei Aufzügen (1852)*.
- 50 — Bd. 10. Leipzig, J.J.Weber, 1857. 11 × 17 cm. II, 319 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

- Inhalt: Oben wie Unten. Lustspiel in zwei Abteilungen. - Die alte Jungfer. Lustspiel in vier Aufzügen. - Das Konzert. Lustspiel in vier Aufzügen (1854).*
- 51 — Bd. 11. Leipzig, J.J.Weber, 1859. 11 × 17 cm. II, 286, (2) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Auf dem Lande. Lustspiel in vier Aufzügen (1855). - Die Gesellschafterin. Schauspiel in drei Aufzügen (1855). - Die Schuldbewußten. Lustspiel in drei Aufzügen (1857).
- 52 — Bd. 12. Leipzig, J.J.Weber, 1860. 11 × 17 cm. II, 260 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Ohne Paß. Lustspiel in einem Aufzuge (1859). - Junker Otto. Lustspiel in vier Aufzügen (1859). - Die Stiefmutter. Schauspiel in drei Aufzügen (1859). - Nein. Lustspiel in einem Aufzuge (1860). - Das Dienstmädchen. Genrebild (1860). - Die Großmutter. Genrebild (1860).
- 53 — Bd. 13. Leipzig, J.J.Weber, 1861. 11 × 17 cm. II, 316 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Pasquillanten. Lustspiel in vier Aufzügen (1860). - Wallrade. Drama in vier Aufzügen (1860). - Eine Fuchshetze. Posse in sechs Bildern (1860).
- 54 — Bd. 15 (b). Leipzig, J.J.Weber, 1863. 11 × 17 cm. S. 135 - 245 [unvollständig = das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Die Crinolinen-Verschwörung. Lustspiel in drei Aufzügen (1861).
- 55 — Bd. 15 (c). 11 × 17 cm. S. 247 - 335 [unvollständig = das letzte Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Brandenburgischer Landsturm. Historisches Lustspiel in vier Aufzügen (1862).
- 56 — Bd. 16 (a). Leipzig, J.J.Weber, 1863. 11 × 17 cm. S. I - II; 1 - 111 [unvollständig = das erste Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Die Fremden. Lustspiel in drei Aufzügen (1862).
- 57 — Bd. 16 (b). 11 × 17 cm. S. 113 - 235 [unvollständig = das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Gegenüber, Lustspiel in drei Aufzügen (1862). - Der Phlegmatikus, Lustspiel in einem Aufzuge (1862).
- 58 — Bd. 16 (c). 11 × 17 cm. S. 237 - 320 [unvollständig = das letzte Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Die Prüfung, Vorspiel in einem Aufzuge (1862). - Der Mädchen Waffen, Vorspiel in einem Aufzuge (1862). - Günstige Vorzeichen, Lustspiel in einem Aufzuge (1862).
- 59 — Bd. 17 (a). Leipzig, J.J.Weber, 1864. 11 × 17 cm. S. I - II; 1 - 96 [unvollständig = das erste Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Die Verlobung, Schauspiel in drei Aufzügen.
- 60 — Bd. 17 (b). 11 × 17 cm. S. 97 - 200 [unvollständig = das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Sammelwuth, Lustspiel in drei Aufzügen (1863).
- 61 — Bd. 17 (c). 11 × 17 cm. S. 201 - 308 [unvollständig = das letzte Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Der Dritte, Vorspiel in einem Aufzuge (1863). - Die Pflögetöchter, Lustspiel in drei Aufzügen (1863).
- 62 — Bd. 19. Leipzig, J.J.Weber, 1866. 11 × 17 cm. II, 360 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Doktor Treuwald, Lustspiel in vier Aufzügen (1864). - Herrschsucht, Lustspiel in drei Aufzügen (1865). - Die zärtlichen Verwandten, Lustspiel in drei Aufzügen (1865).
- 63 — Bd. 22 (b). Leipzig, J.J.Weber, [um 1869]. 11 × 17 cm. S. 115 - 220 [unvollständig = wahrscheinlich das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1).
Enthält: Der achtundachtzigste Geburtstag, Familienbild in drei Aufzügen (1868).
- 64 — Gesammelte dramatische Werke. 2. unveränd. Aufl. Bd. 2 (a). Leipzig, J.J.Weber, 1857. 11 × 17 cm. S. I - II; 1 - 71, 295 - 327 [unvollständig = das erste Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält: Die Sonntagsjäger, Lustspiel in einem Aufzuge (1839). - Der Weiberfeind, Lustspiel in einem Aufzuge (1843).

- 65 ——— Bd. 2 (b). Leipzig, J.J.Weber, 1857. 11 × 17 cm. S. 73 - 160 [unvollständig = das zweite Drittel eines dreigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält: Die Mode, Lustspiel in drei Aufzügen (1840).
- 66 ——— Bd. 8. Leipzig, J.J.Weber, 1859. 11 × 17 cm. II, 338 S. Hldr. St. (3) a.d.T.
Inhalt: Die Künstlerin (1851). - Angela (1851). - Das Gefängnis (1851). - Der Sänger (1852). - Die Phrenologen (1852). - Das Lügen (1852).
- 67 — Gesammelte dramatische Werke. 2. Aufl. Bd. 15. Leipzig, J.J.Weber, 1874. 11 × 17 cm. II, 336 S. Hldr. St. (3) a.d.T.
Inhalt: Der Störenfried, Lustspiel in vier Aufzügen (1861). - Die Crinolinen-Verschwörung (1861). - Brandenburgischer Landsturm (1862).
- 68 — Gesammelte dramatische Werke. 3. Aufl. Bd. 9. Leipzig, J.J.Weber, 1874. 11 × 17 cm. II, 305 S. Hldr. St. (3) a.d.T.
Inhalt: Mathilde, Schauspiel in vier Aufzügen (1852). - Ein Lustspiel, Lustspiel in vier Aufzügen (1853). - Paula, Drama in drei Aufzügen (1853).
- 69 — Haustheater. Sammlung kleiner Lustspiele für gesellige Kreise. Leipzig, J.J.Weber, 1862. 11 × 17 cm. [II, 418 S.] (a) S. I - II; 1 - 92 [unvollständig = das erste Viertel eines viergeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Brümmer Bd. I, S. 181; Kosch Bd. I, Sp. 386; Wilpert S. 55. - Erste Ausgabe dieser Sammlung. - Enthält: Der Weiberfeind. - Unerschütterlich, Lustspiel in einem Aufzuge. - Entsagung, Lustspiel in einem Aufzuge. - Eigensinn.
- 70 — (b). 11 × 17 cm. S. 93 - 224 [unvollständig = das zweite Viertel eines viergeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält: Der Proceß, Lustspiel in einem Aufzuge. - Die Lügnerin. - Die Eifersüchtigen, Lustspiel in einem Aufzuge. - Die Hochzeitsreise, Lustspiel in zwei Aufzügen.
- 71 — (b). 11 × 17 cm. S. 93 - 224. Hldr. St. (1) a.d.T.
- 72 — (c). 11 × 17 cm. S. 225 - 306 [unvollständig = das dritte Viertel eines viergeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält: Die Künstlerin. - Die Phrenologen. - Angela. - Der Sänger.
- 73 — (c). 11 × 17 cm. S. 225 - 306. Hldr. St. (1) a.d.T.
- 74 — (d). 11 × 17 cm. S. 307 - 418 [unvollständig = das letzte Viertel eines viergeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Enthält: Die Diensthofen. - Nein. - Das Dienstmädchen. - Die Großmutter. - Ohne Paß.

Bering, Rudolf (•••• - ••••)

- 75 — Die Goldmine. Ein Schauspiel in 3 Aufzügen. Aus dem Holländischen ins Deutsche vom Verfasser übertragen. Leipzig, o. Verl., 1887. 17 × 22 cm. VI, 84 S. Marmor. Privat-Hlwd. St. (3) a.d.Vs.

Berthold, P. (? - ?)

- 76 — Soppho oder der leukadische Fels. Eine Komödie. Lemberg, C.G.Pfaff, 1822. 11 × 16 cm. 159, (1) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 395, v; Bd. XI/1, S. 286, 4, 1. - Erste Ausgabe.

Bertuch, Heinrich Friedrich Christian (1771 - 1828)

- 77 — (anonym) Clara oder der Triumph der ersten Liebe. Ein Schauspiel in fünf Akten. Zerbst, A.Füchsel, 1794. 11 × 18 cm. II, 108 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 439, 9, 1. - Erste Ausgabe der ersten Veröffentlichung Bertuchs.
- 78 — Alexei Petrowitsch. Ein romantisch-historisches Trauerspiel in fünf Akten. Gotha, C.Steudel, 1812. 11 × 18 cm. XVI, 151 (+1) S. Mit Druckfehlerverzeichnis. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 439, 9, 6. - Erste Ausgabe.

Bilderbeck, Ludwig Franz Freyherr von (1764 - 1833)

- 79 — Schauspiele. Bd. 2 [der zweibändigen Ausgabe von 1801]. Leipzig, Voß und Comp., 1801. 11 × 18 cm. S. 1 - 283 [nicht vollständig]. Hldr. St. (2) mit einem gestrichenen (4) a.d.T.

Goedeke Bd. V, S. 480, 24, 5; Hirschberg S. 50; Meyer Bd. 1, S. 44. - Enthält: Herzensgüte. Ein Lustspiel in drei Aufzügen. - Erste Liebe. Ein Nachspiel in einem Aufzuge. - Das Manuscript. Ein Lustspiel in einem Aufzuge. - Es fehlt ein Stück: Kleider machen Leute.

- 80 — Die Liebe in Spanien. Lustspiel in drei Aufzügen. Leipzig, G.Voß, 1806. 11 × 17 cm. 136 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. V, S. 480, 24, 10. - Erste Ausgabe.

- 81 — Das Vaterherz. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, G. Voß, 1806. 12 × 19 cm. 152 S. Kart. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. V, S. 480, 24, 11. - Erste Ausgabe.

- 82 — Das Vaterherz. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, G.Voß, 1806. 12 × 19 cm. 152 S. Kart. St. (2), (3) a.d.T.

+ Angeb.: Schütze, Stefan (1771 - 1839), Die Journalisten. Lustspiel in einem Aufzuge. Leipzig, G.Voß, 1806. 88 S.

+ Angeb.: Bilderbeck, L.F.Freyherr von, Die Liebe in Spanien. Leipzig, G.Voß, 1806. 136 S. (Zu Schütze:) *Goedeke Bd. IX, S. 320, 5; Hirschberg S. 464. - Erste Ausgabe.*

Blech, Abraham Friedrich (1762 - 1830)

- 83 — (anonym) Johanna die Erste. Ein Trauerspiel in fünf Akten. Mit einem Anhang: Geschichte Johanna der Ersten, Königin von Neapel. Königsberg, Fr. Nocolvius, 1808. 11 × 17 cm. 206 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 333, 11088; Goedeke Bd. IV, S. 451, 31, 4. - Erste Ausgabe.

Blum, Carl Wilhelm August (auch: Carl Ludwig) (1786 - 1844)

- 84 — Theater. Bd. 1 [der vierbändigen Ausgabe von 1839 - 1844]. Berlin, Schlesinger, 1839. 11 × 18 cm. VIII, 285, (3) S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. XI/1, S. 475, 70; Hirschberg S. 52. - Inhalt: Das laute Geheimniß. Romantisches Lustspiel in 5 Aufzügen, frei nach Carlo Gozzi bearbeitet. - Der Ball zu Ellerbrunn. Lustspiel in drei Aufzügen.

- 85 — Bd. 2. Berlin, Schlesinger, 1841. 11 × 18 cm. IV, 312, (2) S. Hldr. St. (1) a.d.T. *Inhalt: Die Herrin von der Else, Schauspiel in fünf Aufzügen. (Frei nach der Idee des Sheridan Knowles.) - Ich bleibe ledig. Lustspiel in drei Aufzügen. (Nach der Idee des Alberto Nota.)*

Bonin, Christian Friedrich Anselm Ferdinand von (1755 - 1813)

- 86 — (anonym) Blaufurt und Wilhelmine. Ein Lustspiel in drey Aufzügen. Breslau und Leipzig, Chr.Fr.Gutsch, 1779. 11 × 15 cm. II, 64 S. Kart. St. (2) a.d.T.

Holzmann/Bohatta I, 246, 7066. - Bei Goedeke (Bd. V, S. 382, 3. 4) sowie Hirschberg (S. 59) statt Blaufurt Blanfort. - Erste Ausgabe.

Brachvogel, Albert Emil (1824 - 1878)

- 87 — Narciss. Ein Trauerspiel. 2. Aufl. Leipzig, H.Costenoble, 1860. 10 × 14 cm. 158 S. Hldr. St. (1), (3) a.d.T.

Hirschberg S. 63; Wilpert/Gühning S. 130, 3 (Erstausgabe: Jena 1857).

Brandes, Johann Christian (1735 - 1799)

- 88 — Hans von Zanow oder: Der Landjunker in Berlin. Ein Lustspiel in fünf Aufzügen. Hamburg, C.E.Bohn, 1785. 10 × 16 cm. VIII, 136 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

+ Angeb.: Weiße, Christian Felix (1726 - 1804), Der Fanatismus, oder: Jean Calas, Ein

historisches Schauspiel in fünf Aufzügen. Mit einem Anhang: Kurze Geschichte vom Tode des Jean Calas. Leipzig, Dyk, 1780. 200 S.

(Zu Brandes:) Wilpert/Gühning S. 134, 9. - Goedeke (Bd. VII, S. 566, 122) gibt eine 1785 in Hamburg bei Campe erschienene Ausgabe an. - (Zu Weiße:) Wilpert/Gühning kennt diese Ausgabe nicht und gibt eine spätere Ausgabe (Frankfurt a.M., Jenisch, 1785) als Erstausgabe an. Vgl. S. 1368, 89.

- 89 — Sämtliche dramatische Schriften. Bd. 5 [der achtbändigen Ausgabe von 1790 - 1791]. Hamburg 1790. Auf Kosten des Verfassers, in Comm. bei Dyk in Leipzig. 11 × 17 cm. XVI, 98, 93, 130 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IV/1, S. 146, 6; Hirschberg S. 64; Wilpert/Gühning S. 134, 11. - Inhalt: Was dem Einen recht ist, ist dem Andern billig. Lustspiel in drey Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1782. - Die Mediceer. Schauspiel in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1775. - Die Erbschaft, oder: Der junge Geizige. Lustspiel in vier Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1780.

- 90 — Bd. 6. Hamburg 1790. Auf Kosten des Verfassers, in Comm. bei Dyk in Leipzig. 11 × 17 cm. XXIV, 142, 190, 21 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Inhalt: Der Gasthof, oder: Trau, schau wem! Lustspiel in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1769. - Unbesonnenheit und Irrthum. Schauspiel in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1789. - Ino. Melodrama in einem Aufzuge. Verfertigt im Jahr 1777.

- 91 — Bd. 7. Hamburg 1791. Auf Kosten des Verfassers, in Comm. bei Dyk in Leipzig. 11 × 17 cm. XVI, 158, 147, 67 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Inhalt: Otilie. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1779. - Der Hagestolze, oder: Wie man's treibt, so geht's! Lustspiel in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1771. - Die Irrthümer. Komödie in Einem Aufzuge. Verfertigt im Jahr 1786.

- 92 — Bd. 8. Hamburg 1791. Auf Kosten des Verfassers, in Comm. bei Dyk in Leipzig. 11 × 17 cm. XXIX, 142, 187, 122 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Inhalt: Der Schiffbruch. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1765. - Der Landjunker in Berlin, oder: Die Ueberlästigen. Komödie in fünf Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1785. - Die Komödianten in Quirlequitsch. Komödie in drey Aufzügen. Verfertigt im Jahr 1770.

Braun, F.C. (? - ?)

- 93 — Ferdinand und Elise, oder Rückkehr von der Schwärmerey zur Vernunft. Ein Schauspiel in vier Aufzügen. Heidelberg, F.L.Pfähler, 1789. 10 × 17 cm. VII, 160 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

+ Angeb.: Kaffka (eig. Engelmann), Johann Christoph (1754 - 1815), Wer ist nun betrogen? oder der spanische Bräutigam. Ein Lustspiel in fünf Aufzügen. (Auf der Breslauer Bühne zum erstenmal aufgeführt den 12. Dez. 1788.) Breslau, Chr. Fr. Gutsch, 1789. 142 S.

(Zu Braun:) Goedeke Bd. V, S. 369, 17, 1. - Erste Ausgabe. - (Zu Kaffka:) Goedeke Bd. VIII, S. 460, 5, 7. - Erste Ausgabe.

Braun von Braunthal, Karl Johann (1802 - 1866)

- 94 — (anonym) Faust. Eine Tragödie. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1835. 12 × 19 cm. IV, 152 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Brümmer Bd. I, S. 334; Hirschberg S. 64.

Brentano, Clemens Maria (1778 - 1842)

- 95 — Viktoria und ihre Geschwister mit fliegenden Fahnen und brennender Lunte. Ein klingendes Spiel (in zwei Aufzügen). Berlin, Maurer, 1817. 11 × 17 cm. XVI, 223 (+1) S. mit 1 Titeltupfer und 3 Musikbeilagen. Mit Erklärung einiger Volksausdrücke aus der österreichischen Mundart, welche in diesem Festspiel vorkommen (S. 216 - 213). Hldr. St. (2), (3) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 61, 31; Hirschberg S. 66; Wilpert/Gühning S. 148. - Erste Ausgabe.

Bretzner, Christoph Friedrich (1748 - 1807)

96 — Der Geisterbeschwörer. Ein Trauerspiel in drey Akten. Leipzig, Fr.G.Jacobäer, 1790. 10 × 16 cm. 114 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

+ Angeb.: Anonymus, Edinhard und Adelheid. Ein Schauspiel in drey Akten. Aufgeführt am Eichberge bey Sonnenberg, an dem Geburtsfeste der Durchlauchtigst regierenden Herzogin zu Sachsen Coburg-Meiningen, Frau Louisen Cleonoren, den 11. Aug. 1789. Meiningen, J.G.Hanisch, o. J. 62 S.

(Zu Bretzner:) *Goedeke Bd. IV/1, S. 662, 21, 12; Hirschberg S. 64. - Erste Ausgabe.*

97 — Die Erbschaft aus Ostindien. Ein Lustspiel in vier Akten. Leipzig, Fr.G.Jacobäer, 1796. 10 × 16 cm. 163 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

+ Angeb.: Schauspieler Schouwärt (Pseud.), Die Ueberschwemmung. Ein Schauspiel in drey Akten. Frankfurt am Mayn, o. Verl., 1784. 105 S.

(Zu Bretzner:) *Goedeke Bd. IV/1, S. 661, 21, 3e.*

Bruckbräu, Friedrich Wilhelm (1792 - 1874)

98 — Maria von Brabant. Ein historisch-romantisches Trauerspiel in fünf Aufzügen. Dresden, Arnold, 1824. 11 × 16 cm. VIII, 189 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. X, S. 317, 7; Hirschberg S. 68 - Erste Ausgabe.

Bulwer, Edward George, Baron Lytton of Knebworth (1803 - 1873)

99 — Das Mädchen von Lyon, oder Liebe und Stolz. Ein Schauspiel in fünf Akten. Aus dem Englischen von Otto von Czarnowsky. Aachen und Leipzig, J.A.Mayer, 1838. 12 × 18 cm. XVIII, 161 S. Br. St. (1) a.d.T.

100 — Richelieu, oder die Verschwörung. Trauerspiel in fünf Akten. Aus dem Englischen nach der achten Auflage übersetzt von Ludwig Braunfels. Aachen und Leipzig, J.A. Mayer, 1839. 11 × 18 cm. X, 229 S. [=E. L. Bulwer's sämtliche Werke. Bd. 36.] Br. St. (1) a.d.T.

Burchard, Friedrich Gottlieb Julius (Pseud.: Max Roller) (1767 - 1807)

101 — (Pseud.) Graf von Santa Vecchia. Gemählde der Schwärmereyen des achtzehnten Jahrhunderts in fünf Aufzügen. Berlin, Franke, 1792. 10 × 16 cm. IV, 143 S. Ppbd. St. (2), (6) a.d.T.

Goedeke Bd. V, S. 385, 18, 1.

Byron, George Gordon Lord (1788 - 1824)

102 — Manfred. Dramatisches Gedicht (in drei Akten). Frei übersetzt von Adolf Seubert. Leipzig, Reclam, o.J. [um 1883]. 9 × 14 cm. 47, (12) S. Lwd. [=Reclams UB. Miniatúrausgabe]. St. (3) a.d.T.

Castelli, Ignaz Vincenz Franz (1781 - 1862)

103 — Raphael. Ein historisches Lustspiel in Alexandrinern und einem Aufzuge. Wien, A. Strauß, 1810. 12 × 20 cm. 67 S. Br. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. XI/2, S. 48, 31; Wilpert/Gühning S. 177, 20. - Erste Ausgabe.

104 — Dramatisches Sträußchen für das Jahr 1824. Jg. 9. Wien, J.B.Wallishausser, 1824. 10 × 12 cm. VI, 262, (5) S. Kart. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VIII, S. 129, 14 bzw. Bd. XI/2, S. 44 f. sowie S. 59, 105; S. 60, 108 u. 107; Wilpert/Gühning S. 177, 17. - Erste Ausgabe. - „Dramat. Sträußchen“ [Jg. 1 - 20, Wien, Wallishausser, 1809, 1817 - 1835] enthält mit Ausnahme des Jg. 1 nur Werke von Castelli. - Inhalt des Jg. 9: Gabriele. Drama in drey Aufzügen. Nach der Valerie der Herren Scribe und Melesville. - Die junge Tante. Lustspiel in einem Aufzuge. Nach Melesville. - Emmy Teels. Drama in drey Aufzügen. Nach Pixerecourt.

Caspar, Franz Xaver von (1772 - 1833)

- 105 — Aventin. Ein historisches Drama in 3 Acten. Leipzig, J.Fr.Glück, 1825. 11 × 18 cm. VIII, 131 S. Mit Anmerkungen. Ein Titelkupfer fehlt. Br. St. (2) a.d.T. Unaufgeschnitten. Goedeke Bd. VII, S. 173, 20, 4 - Erste Ausgabe.

Collin, Heinrich Joseph von (1771/72 - 1811)

- 106 — Coriolan. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. Berlin, o.Verl., 1804. 13 × 21 cm. 120 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Es handelt sich um den bei Goedeke Bd. VI, S. 106 unter Nr. 3 aufgeführten Nachdruck. [Erstausgabe: Berlin, J.Fr. Unger, 1804.] - Vgl. Hirschberg S. 88; Wilpert/Gühning S. 190, 3.
- 107 — Balboa. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. Berlin, J.F.Unger, 1806. 18 × 21 cm. II, 131 S. Kart. St. (2), (3) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 106, 5; Hirschberg S. 88; Wilpert/Gühning S. 190, 5. - Erste Ausgabe.

Collin, Matthäus Casimir von (1779 - 1824)

- 108 — Dramatische Dichtungen. Bd. 1 [der vierbändigen Ausgabe von 1813 - 1817]. Pesth, K.A.Hartleben, 1813. 11 × 17 cm. X, 238 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 108, [§ 228, 4,] 3, a - c; Hirschberg S. 88; Wilpert/Gühning S. 190, 4. - Inhalt: Der Tod Friedrich des Streitbaren. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Der Cid. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen nach Corneille.
- 109 — Bd. 2. Pesth, K.A.Hartleben, 1813. 11 × 17 cm. II, 257 S. Mit Titelkupfer. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke ebenda, d - e. - Inhalt: Annus und die Legionen. Vorspiel zu Marius. - Marius. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Calthon und Colmal. Ein lyrisches Schauspiel in drey Aufzügen.
- 110 — Bd. 3. Pesth, K.A.Hartleben, 1817. 11 × 17 cm. II, 316 S. Mit Titelkupfer. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke ebenda, f - h. - Inhalt: Bela's Krieg mit dem Vater. Schauspiel in fünf Aufzügen. - Die feindlichen Söhne (im Titelbl. fälschl. Kurztitel: Die feindlichen Brüder.) Schauspiel in drei Aufzügen. - Der Tod Heinrich des Grausamen. Trauerspiel in einem Aufzuge.

Cords, G. (.... -)

- 111 — (Bearb.) Die beiden Grenadiere, Lustspiel in drei Akten. Nach dem Französischen frei bearbeitet. Berlin, Fr.Braunes, 1811. 11 × 19 cm. II, 174 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Cramer, Carl Friedrich (1752 - 1807)

- 112 — (anonym) Die Leidenschaften. Eine Reihe dramatischer Gemälde nach dem Englischen von Joanna Baillie. Theil 2 [von 3]: Der Haß. [Amsterdam und Leipzig, Kunst- und Industrie-Comptoir, 1806.] 12 × 20 cm. 400 S. [unvollständig]. Es fehlt: Titelbl.; S. 65 - 112 [=Bg. 5 - 7]. Kart. St. (2) auf S. 1.
Goedeke Bd. IV/1, S. 1091, 40 bzw. Bd. VII, S. 726, 428, 1. - Inhalt: De Monfort [, oder die Folgen des Hasses]. Ein Trauerspiel in fünf Acten. - Die Wahl. Ein Lustspiel in fünf Acten.
- 113 — (anonym) Die Probe. Ein Lustspiel in fünf Acten. Amsterdam, Kunst- und Industrie-Comptoir, 1809. 10 × 18 cm. II, 198 S. [=Einzeldruck aus „Leidenschaften“, Theil 1 (1806).] Br. St. (2) a.d.T. Unaufgeschnitten.
Goedeke Bd. IV/1, S. 1091, 40b bzw. Bd. VII, S. 726, 428, 1b. (Einzeldruck: erstmals 1808.) - Derselbe Titel bei Karl Stein, der auch in Amsterdam 1809 (in Anonym.) herauskam. Vgl. Holzmann/Bohatta Bd. III, S. 302, 9846; Goedeke Bd. VI, S. 392, 26, 16.
- 114 — (anonym) De Montfort, oder die Folgen des Hasses. Ein Lustspiel des Hasses. Amsterdam, Kunst- und Industrie-Comptoir, 1809. 10 × 18 cm. II, 198 S. [=Einzeldruck aus „Leidenschaften“, Theil 2 (1806).] Br. St. (2) a.d.T. Unaufgeschnitten.

Goedeke Bd. IV/1, S. 1091, 40c bzw. Bd. VII, S. 726, 428, 1c. (Einzeldruck: erstmals 1808.)

- 115 — (anonym) Die Wahl. Ein Lustspiel in fünf Acten. Amsterdam, Kunst- und Industrie-Comptoir, 1809. 11 × 18 cm. II, 202 S. [=Einzeldruck aus „Leidenschaften“, Theil 2 (1806).] Br. St. (2) a.d.T. Unaufgeschnitten.

Goedeke Bd. IV/1, S. 1091, 40d bzw. Bd. VII, S. 726, 428, 1d. (Einzeldruck: erstmals 1808.) - Derselbe Titel bei Karl Stein, der auch in Amsterdam 1809 (in Anonym.) herauskam. Vgl. Holzmann/Bohatta Bd. IV, S. 366, 11401; Goedeke Bd. VI, S. 392, 26, 17.

- 116 — (anonym) Die zweythe Heirath. Ein Lustspiel in fünf Acten. Amsterdam, Kunst- und Industrie-Comptoir, 1809. 12 × 18 cm. II, 216 S. [=Einzeldruck aus „Leidenschaften“, Theil 3 (1806).] Br. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IV/1, S. 1091, 40f bzw. Bd. VII, S. 726, 428, 1f. (Einzeldruck: erstmals 1808.) - Derselbe Titel bei Karl Stein, der auch in Amsterdam 1809 (in Anonym.) herauskam. Vgl. Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 274, 9141; Goedeke Bd. VI, S. 392, 26, 15.

David, H. I. (.... -)

- 117 — Eine Nacht auf Wache. Vaudeville in einem Aufzuge. Hamburg, Hoffmann und Campe, 1838. 12 × 17 cm. VI, 78 S. mit Titelvign. Br. St. (1) a.d.T.

Decker, Thomas (ca. 1572 - ca. 1640)

- 118 — Fortunatus und seine Söhne, eine Zauber-Tragödie. Aus dem Englischen von Fr.W. Schmidt. Berlin, Voß, 1819. 10 × 16 cm. II, 225 (+1) S. Mit einem Anhang ähnlicher Märchen dieses Kreises, und einer Abhandlung über die Geschichte von Fortunatus. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Hirschberg S. 97. - Erste Ausgabe.

Deinhardstein, Johann Ludwig Ferdinand (1794 - 1859)

- 119 — Hans Sachs. Dramatisches Gedicht in vier Acten. (Zum ersten Mahle aufgeführt am k. k. Hof-Theater nächst der Burg, den 4. Okt. 1827.) Wien, Armbruster, 1829. 12 × 19 cm. XVI, 140 S. Ppbd. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 95, 31; Hirschberg S. 98; Wilpert/Gühning S. 218, 8. - Erste Ausgabe.

Devrient, Philipp Eduard (1801 - 1877)

- 120 — Dramatische und dramaturgische Schriften. Bd. 1 - 2 (der zehnbändigen Ausgabe von 1846 - 1874). 2 Bde. in 1 Bd. Leipzig, J.J.Weber, 1846. 11 × 17 cm. IV, 322; IV, 352 S. Lwd. St. (3) a.d.T.

Hirschberg S. 100; Wilpert/Gühning S. 222, 10. - Inhalt: (Bd. 1:) Das graue Männlein. Schauspiel in fünf Akten (1833). - Die Gunst des Augenblicks. Lustspiel in drei Akten (1835). - Hans Heiling. Romantische Oper in drei Akten nebst einem Vorspiele (1827). - (Bd. 2:) Die Verirrungen. Ein bürgerliches Schauspiel in fünf Akten (1837). - Der Fabrikant. Schauspiel in drei Aufzügen (1839). - Die Kirmes. Komische Oper in einem Aufzuge (1831).

- 121 — — Bd. 3 - 4. 2 Bde. in 1 Bd. (Bd. 4 in 2. Aufl.). Leipzig, J.J.Weber, 1846. 11 × 17 cm. IV, 445; XII, 357 S. Lwd. St. (3) a.d.T.

Inhalt: (Bd. 1:) Treue Liebe. Schauspiel in fünf Akten (1841). - Wer bin ich? Posse in vier Akten (1843). - Der Zigeuner. Romantische Oper in vier Akten (1832). - (Bd. 4:) Briefe aus Paris (1839). - Ueber Theaterschule. Eine Mittheilung an das Theaterpublikum (1840).

Dyk, Johann Gottfried (1750 - 1813)

- 122 — Graf von Essex. Neu bearbeitet. 3. verb. Ausgabe. Leipzig, Dyk, 1786. 11 × 17 cm. 126 S. Mit Titelvign. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Eberl, Ferdinand (1762 - 1805)

- 123 — Die Deutschen unter den Muselmännern. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Wien, J. Ochß, 1803. 11 × 17 cm. 121 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Ders., Noch seltner als Weibertreue. Ein Lustspiel in vier Aufzügen. Wien, Ochß, 1803. 126 S.
(Zu „Die Deutschen ...“.) Goedeke Bd. V, S. 332, 11. - Nachdruck der Ausgabe 1793. -
(Zu „Noch seltner ...“.) Goedeke ebenda, 14. - Nachdruck der Ausgabe 1795.

Elsholtz, Franz von (1791 - 1872)

- 124 — Schauspiele. Theil 1 [- 3]. 2., mit Goethe's Briefen über „Die Hofdame“ vermehrte Ausgabe. Leipzig, Brockhaus, 1835 [- 1854]. 12 × 19 cm. XXIV, 191 (+1) S. Hlwd. St. (1) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 589, 23, a - d; Hirschberg S. 114. - Inhalt: Die Hofdame. Lustspiel in fünf Acten. - Komm her! Dramatische Aufgabe in Einem Act. - Geh hin! Dramatische Aufgabe in Einem Act mit melodramatischer Musikbegleitung (mit einem Nachspiel).
125 — Theil 2. Leipzig, Brockhaus, 1835. 12 × 19 cm. VIII, 263 S. Hlwd. St. (1) a.d.T.
Goedeke ebenda, S. 590, 23, e - g. - Inhalt: Die Cordova. Trauerspiel in fünf Acten. - Der sprechende Hund. Lustspiel in drei Acten. - Les Anglais en France. Folie-Vaudeville en un acte. (Der Text auch in französischer Sprache.)

Engel, Karl Christian (1752 - 1801)

- 126 — Biondetta. Ein allegorisches Schauspiel mit Gesang in vier Aufzügen. Berlin, Fr. Maurer, 1792. 11 × 18 cm. XVI, 168 (+1) S. Mit Titelvign. Kart. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Saurin, Bernhard Joseph (1706 - 1781), Blanca und Guiscard. Ein Trauerspiel. Eine Nachahmung aus dem Englischen des Herrn Tomson. Aus dem Französischen übersetzt. Frankfurt und Leipzig, o. Verl., 1764. 112 S.
(Zu Engel:) Goedeke Bd. V, S. 398, 21, 1; Hirschberg S. 115. - Erste Ausgabe.

Falk, Johannes Daniel (1768 - 1826)

- 127 — Coriolan, frey nach Shakespeare. Amsterdam und Leipzig, Kunst- und Industrie-Comptoir, 1812. 10 × 18 cm. X, 341 (+1) S. Mit einer Anmerkung zum Coriolan. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VII, S. 708, 5b (mit Jahreszahl: 1811); Killy Bd. III, S. 330.

Feldmann, Leopold (1802 - 1882)

- 128 — Deutsche Original-Lustspiele. Bd. 1 [der sechsbändigen Ausgabe von 1845 - 1852]. Wien, Wallishausser, 1845. 11 × 19 cm. II, 297 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Brittmer Bd. II, S. 196. - Inhalt: Der Sohn auf Reisen. Lustspiel in zwei Aufzügen. - Die Kirschen. Lustspiel in einem Aufzuge. - Das Portrait der Geliebten. Lustspiel in drei Aufzügen. - Die freie Wahl. Lustspiel in einem Aufzuge. - Die schöne Athenienserin. Lustspiel in vier Aufzügen.

Fitger, Arthur (1840 - 1909)

- 129 — (Übers.) Philiberte. Lustspiel in drei Aufzügen von Emile Augier (1820 - 1889). Vom Verfasser autorisirte Bearbeitung. Oldenburg und Leipzig, Schulze, o.J. [1888]. 13 × 20 cm. IV, 93, (4) S. Br. St. (3) a.d.T.
Vgl. Lüdtke, Nekrolog, Sp. 184.

Fouqué (De la Motte), Friedrich Heinrich Karl (1777 - 1843)

- 130 — Hieronymus von Stauff, Trauerspiel in fünf Aufzügen. Berlin, Schlesinger, 1819. 10 × 16 cm. IV, 200, (4) S. Kart. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. VII, S. 126, 93; Hirschberg. S. 132; Wilpert/Gühning S. 342, 60. - Erste Ausgabe.

- 131 — (anonym) Herr von Kotzebue in Sibirien. Ein Schauspiel in drei Aufzügen mit zwei Titeln und drei Vorreden. [Dann folgt: Erste Vorrede an den Herrn von Kotzebue. (Unterzeichner:) Frey. - (Der zweite Titel:) Die Umarmung. Ein Schauspiel in einem Aufzuge, nach einer Geschichte unserer Tage gearbeitet von Verfasser des Herrn von Kotzebue in Sibirien. - Zweite Vorrede an die Leser. - Dritte Vorrede an die Herren Recensenten.] O.O., o. Verl., 1802. 11 × 18 cm. XXII, 100 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 370, 12367; Goedeke Bd. V, S. 281, 75 f. - Sowohl Holzmann/Bohatta wie Goedeke geben 1803 (als Jahreszahl) an.

Freytag, Gustav (1816 - 1895)

- 132 — Graf Waldemar. Schauspiel in fünf Acten. Leipzig, G.Hirzel, 1858. 12 × 18 cm. II, 110 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Wilpert/Gühning S. 365, 10 (Erstausgabe: Leipzig, Verlagsbureau, 1850). Vgl. Melitz S. 114 (mit Jahreszahl: 1848).
- 133 — Die Fabier. Trauerspiel in fünf Acten. Leipzig, G.Hirzel, 1859. 12 × 18 cm. IV, 190 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Hirschberg S. 137; Wilpert/Gühning S. 365, 15. - Erste Ausgabe.

Friedrich, Friedrich (1828 - 1890)

- 134 — Eine Warte am Rhein. Schauspiel in 5 Acten. Den Bühnen gegenüber als Manuscript gedruckt. Leipzig, L.Weidemann, o.J. [1862]. 10 × 14 cm. IV, 122 S. Br. St. (3) a.d.T.
Brimmer Bd. II, S. 285.

Friedrich, Theodor Heinrich (1776 - 1819)

- 135 — Vetter Kukuk. Lustspiel in vier Aufzügen. Berlin, Fr.Braun, 1811. 10 × 18 cm. 143 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VI, S. 391, 23, 4; Hirschberg S. 139. - Erste Ausgabe.
- 136 — Der Glückspilz und die Glücksritter. Lustspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, H.Gräff, 1816. 11 × 17 cm. VI, 185 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke (Bd. VI, S. 391, 23, 11) sowie Hirschberg (S. 139) kennt eine 1816 in Berlin erschienene Ausgabe.

Gaßmann, Theodor (1828 - 1871)

- 137 — (Bearb.) Feen-Hände. Lustspiel in 5 Aufzügen. Nach Scribe's „Les doigts de fee“ bearbeitet. Hamburg, B.S.Berendsohn, 1858. 12 × 18 cm. 79 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

Geier, Johann Peter Christian (1767 - 1846)

- 138 — (anonym) Baron von Blankenstein, oder die bereuete Uebereilung. Ein Schauspiel in drey Aufzügen. Hamburg und Leipzig, H.J.Matthiessen, 1791. 12 × 19 cm. 103 S. Kart. St. (2) a.d.T.
- + Angeb.: Ernst, Valentini (anonym), Blanford und Charlotte oder die Eroberung von St. Lucie. Ein Schauspiel in einem Aufzuge nach dem Französischen. Offenbach am Main, U. Weiß und C.L.Brede, 1782. 70 S.
(Zu Geier:) Goedeke Bd. VII, S. 377, 43, 1; Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 246, 7067. - (Zu Ernst:) Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 246, 7065 (mit Angabe: Lustspiel in einem Aufzuge; aus dem Franz.).

Genast, Karl Albert Wilhelm (1822 - 1887)

- 139 — Bernhard von Weimar. Geschichtliches Trauerspiel in fünf Acten. (Zum ersten Male auf dem Großherzoglichen Hoftheater zu Weimar aufgeführt am 2. Januar 1855.) Den Bühnen gegenüber Manuscript. Weimar, H.Böhlau, 1855. 14 × 18 cm. 141 S. Kart. St.

(1) a.d.T.

Brümmen Bd. II, S. 345.

Genée, Heinrich Rudolf (1824 - 1914)

- 140 — Lustspiele. Berlin, L.Lassar, 1853. 11 × 18 cm. II, 103 S. Hldr. St. (1),(3) a.d.T.
Brümmen Bd. II, S. 346; Wilpert/Gühning S. 384, 3. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Das Kloster von Camenz. Lustspiel in 2 Akten. - Ehestands-Exercitien. Dramatischer Scherz in 1 Akt. - Durch! Lustspiel in 1 Akt.

Gensicke, Friedrich (1760 - 1784)

- 141 — (anonym), Blanca und Enrico. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. Hannover, Chr. Ritscher, 1795. 10 × 17 cm. 111 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Wisin, Denis Iwanowitsch (anonym), Das Muttersöhnchen. Ein Lustspiel in fünf Aufzügen. Aus dem russischen Original, betitelt: Nedorost, von einer Gesellschaft Freunde übersetzt. Leipzig und Wien, R.Grässer, 1787. 176 S.
(Zu Gensicke:) *Goedeke Bd. V, S. 326, 85, 6. - Holzmann/Bohatta Bd. VI, S. 106, 2862.*
- (Zu Wisin:) *Holzmann/Bohatta Bd. VII, S. 306, 7309.*

Gewey, Franz Xaver Karl (1764 - 1819)

- 142 — (anonym: Verfasser der Modesitten) Pigmalion, oder die Musen bey der Prüfung. Parodie in zwey Aufzügen, in Knittelversen mit Arien und Chören. Wien, Geistinger, 1813. 10 × 17 cm. 141, (3) S. Br. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. XI/2, S. 103, 17. - Erste Ausgabe.

Goldoni, Carlo (1707 - 1793)

- 143 — Die zärtliche Ehefrau. Eine Comödie von drey Aufzügen. Aus dem Italienischen des Herrn Goldoni übersetzt. Wie sie auf dem Kochischen Theater aufgeführt worden. Leipzig, C.Fr.Schneider, 1776. 11 × 17 cm. 111 S. Mit Titelvign. Ppbd. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Thilo, Friedrich Gottlieb (1749 - 1825) (anonym), Die Einsprüche oder Ende gut, alles gut. Ein Lustspiel in drei Aufzügen. Leipzig, C.Fr.Schneider, 1780. 136 S.
(Zu Thilo:) *Goedeke Bd. V, S. 388, 4, 7 (Erstausgabe: Frankfurt und Leipzig 1778); Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 14, 443. - Zweite Aufl.*

Görner, Karl August (1806 - 1884)

- 144 — Almanach dramatischer Bühnenspiele zur geselligen Unterhaltung für Stadt und Land. Jg. 1 [bis 11]. (b) Breslau, Graß, Barth und Comp. Verlagsbuchh., 1851 [bis 1868]. 10 × 17 cm. S. 91 - 183 [unvollständig = die zweite Hälfte eines zweigeteilten Leihbibliotheks-Expl.]. Hldr. St. (1) a.d.T.
Brümmen Bd. II, S. 408. - Der Almanach enthält nur Werke Görners. - Das vorhandene Expl. enthält: Nichte und Tante. Lustspiel in einem Aufzuge. - Die Stiefmama. Lustspiel in zwei Akten.
145 — Jg. 4. 2. Aufl. Breslau, Graß, Barth und Comp. Verlagsbuchh., 1859. 11 × 17 cm. IV, 184 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Brümmen Bd. II, S. 408. - Inhalt: Aufgeschoben ist nicht aufgehoben. Lustspiel in 2 Aufzügen. - Englisch. Lustspiel in einem Aufzuge. - Eine meublirte [d.h. möblierte] Wohnung. Schwank in einem Aufzuge.

Gottschall, Carl Rudolf von (1823 - 1909)

- 146 — Die Rose vom Kaukasus. Dramatisches Gedicht in zwei Aufzügen. 2. Aufl. Leipzig, Reclam, o.J. [um 1881]. 9 × 14 cm. IV, 52, (16) S. Mit Bildn. des Verfassers. Olwd. [= Reclams UB. Miniaturausgabe]. Mit. St. (3) a.d.T.
Wilpert/Gühning S. 431, 42 (Erstausgabe: 1871).

- 147 — Der Vermittler. Lustspiel in vier Aufzügen. 2. Aufl. Leipzig, J.A.Brockhaus. 1884. 12 × 15 cm. VI, 147, (1) S. [=Dramatische Werke. 2. Aufl. Bd. 12 (von 12).] Br. St. (3) a.d.T. Unaufgeschnitten.

Wilpert/Gühning S. 431, 55 (irrig: 149 S.). - Erste Ausgabe.

Grillparzer, Franz (1791 - 1872)

- 148 — Der Traum, ein Leben. Dramatisches Märchen in vier Aufzügen. Wien, J.B.Wallishausser, 1840. 13 × 21 cm. 158 S. Br. St. (1) a.d.T.

Goedeke Bd. VIII, S. 401, 104, e; Hirschberg S. 158; Wilpert/Gühning S. 449, 12. - Erste Ausgabe.

- 149 — Sappho. Trauerspiel in fünf Aufzügen. Stuttgart, Cotta, 1883. 12 × 18 cm. 108 S. Mit einem Anhang von H. L. über Sappho. OLwd. St. (3) a.d.T.

Goedeke Bd. VIII, S. 393, 103, k.

Grimmert, Karl Friedrich (Pseud.: Henriette Clauren) (1795 - ?)

- 150 — (Pseud.) Die Familie Clauren oder: Nichts als Clauren. Original-Posse in zwei Akten nebst Prolog und Epilog. Zerbst, G.A.Kummer, 1827. 11 × 17 cm. II, 72 S. Kart. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. X, S. 58, 51z, 7. - Erste Ausgabe.

Grosmann, Ernst (.... -)

- 151 — Neue Schauspiele. Altenburg, Chr. Fr. Petersen, 1806. 10 × 17 cm. II, 268 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Inhalt: Die schwarzen Brüder. Romantisches Schauspiel in 4 Akten mit Chören. - Das Taschenbuch, oder die Banknoten. Ein skizzirtes Gemälde aus dem Menschenleben in einem Akte. - Der Teufel im Aktenstübchen. Lustspiel in einem Akt.

Grüner, Christoph Sigismund (1758 - 1808)

- 152 — Das Gelübde. Ein heroisches Schauspiel in vier Aufzügen. Mannheim, Schwan und Götz, 1803. 10 × 17 cm. II, 112 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

+ Angeb.: Lindheimer, Friedrich (um 1774 - 1822/36), Der Berggeist. Ein Lustspiel in zwei Akten. Mannheim, Schwan und Götz, 1798. 100 S.

+ Angeb.: Ders., Das wandernde Körbchen. Ein Lustspiel in einem Akt. Mannheim, Schwan und Götz, 1798. 83 S.

+ Angeb.: Ochsenheimer, Ferdinand (1767 - 1822), Er soll sich schlagen. Ein Lustspiel in einem Aufzuge. (Zum erstenmale aufgeführt auf der Nationalbühne zu Mainz am 9. im Hornung 1792.) Mannheim, Schwan und Götz, 1792. 59, (3) S.

+ Angeb.: Anonymus, Fanny, oder der Sieg der Tugend. Ein aus den Werken des Hrn. von Arnaud entnommenes Drama in einem Aufzuge. Mannheim, C.F.Schwan, 1778. 55 S.

+ Angeb.: Anonymus, Die Aussteuer. Ein Nachspiel in einem Aufzuge. Nach dem Französischen einer noch ungedruckten Operetten. Mannheim, C.J.Schwan, 1778. 54 S.

(Zu Grüner:) Goedeke Bd. V, S. 396, 8, 9. - (Zu Lindheimer:) Goedeke Bd. V, S. 377, 36, 4c und 4b. - Es handelt sich wohl um die Separatdrucke aus Lindheimers „Lustspiele“.

- (Zu Ochsenheimer:) Goedeke Bd. V, S. 391, 19, 2 (irrig: 54 S.). - Erste Ausgabe.

Gubitz, Friedrich Wilhelm (1786 - 1870)

- 153 — Schriften. Bd. 2 [der zweibändigen Ausgabe 1816]. Theater-Spiele. Berlin, Maurer, 1816. 11 × 17 cm. VI, 304 (+1) S. Mit 2 color. Holzschnitten vom Verfasser. Br. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 439, 21, 9 - 12; Hirschberg S. 182. Erste Ausgabe. - Inhalt: Die Prinzessin. Lustspiel in fünf Akten. - Sappho. Monodrama. - Die selige Frau. Lustspiel in einem Akt. - Lieb' und Friede. Schauspiel in einem Akt.

Günderode, Friedrich Justinian Freiherr von (1747 - 1785)

- 154 — (anonym) Die weibliche Beständigkeit. Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Frankfurt und Leipzig, J.G.Fleischer, 1781. 12 × 19 cm. 110 S. Mit Titelvign. Kart. St. (2) a.d.T. *Holzmann/Bohatta Bd. I, S. 212, 6084; Goedeke Bd. V, S. 369, 1 (mit Bemerkung: Ohne Vorwissen des Verfassers ganz umgearbeitet.).*

Guttenberg, Andreas Joseph von (1770 - 1817)

- 155 — Der mißlungene Anschlag. Ein Lustspiel in drei Aufzügen. Leipzig, C.H.Stage, o. J. 12 × 19 cm. 128 S. Mit 1 Titeltkup. Hldr. St. (2) mit einem gestrichenen (4) a.d.T. *Goedeke Bd. V, S. 295, 19, 6 (mit Jahreszahl: 1802).*
- 156 — Die Waffenbrüder, oder: Der Bund der Rache. Ein romantisches Trauerspiel in vier Aufzügen aus der Zeiten des Aberglaubens und der Schwärmerey. Leipzig, Stage, o.J. [1884]. 12 × 18 cm. 149 S. Hldr. St. (2) mit einem gestrichenen (4) a.d.T. *Goedeke Bd. V, S. 295, 19, 10; Hirschberg S. 183. - Erste Ausgabe.*

Gutzkow, Carl (auch: Karl) (1811 - 1878)

- 157 — Dramatische Werke. Bd. 4 [der neunbändigen Ausgabe von 1842 - 1857]. Leipzig. C. B.Lorck, 1847. 11 × 17 cm. IV, 288 S. Ppbd. St. (1) a.d.T. *Hirschberg S. 184; Wilpert/Gühning S. 469, 31. - Inhalt: Pugatscheff. Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Das Urbild des Tartüffe. Lustspiel in fünf Aufzügen.*
- 158 — Bd. 5. Leipzig, C.B.Lorck, 1847. 11 × 17 cm. IV, 238 S. Hldr. St. (1) a.d.T. *Inhalt: Der dreizehnte November. Dramatisches Seelengemälde in drei Aufzügen. - Uriel Acosta. Trauerspiel in fünf Aufzügen.*
- 159 — Bd. 6. Leipzig, C.B.Lorck, 1848. 11 × 16 cm. XXIV, 272, (8) S. Mit Portr. Hldr. St. (1) a.d.T. *Inhalt: Wullenweber. Geschichtliches Trauerspiel in fünf Aufzügen.*
- 160 — 2. verbes. Aufl. Bd. 2. Leipzig, C.B.Lorck, 1846. 11 × 17 cm. X, 268 S. Hldr. St. (1) a.d.T. *Es fehlen S. I - IV, S. 5 - 14. - Inhalt: Patkul. Ein politisches Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Die Schule der Reichen. Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 161 — Der Königsleutnant. Lustspiel in vier Aufzügen. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1852. 11 × 18 cm. X, 182 S. Hldr. St. (1) a.d.T. *Wilpert/Gühning S. 469, 43. - Erste Ausgabe.*
- 162 — Dramatische Werke. Vollständige neu umgearb. Ausgabe [von 1862 - 1863]. Bdchn. 2 [von 20]. 5. Aufl. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1862. 11 × 15 cm. 1 Bl. 107 (+3) S. Mit Anmerkung. Hldr. St. (1) a.d.T. *Inhalt: Zopf und Schwert. Lustspiel in fünf Aufzügen.*
- 163 — Bdchn. 6. 4. Aufl. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1862. 11 × 15 cm. IV, 78 (+1) S. Mit Anmerkung. Hldr. St. (1) a.d.T. *Inhalt: Ein weißes Blatt. Schauspiel in fünf Aufzügen.*

Hagemann, Friedrich Gustav (1760 - ca. 1830)

- 164 — Neue Schauspiele. Bd. 1. Eisenach, Wittekindt, 1798. 10 × 16 cm. 446, (1) S. Ppbd. St. (2) a.d.T. *Goedeke Bd. V, S. 289, 10, 19; Hirschberg S. 188. - Inhalt: Seliko und Berisa oder die Liebe unter den Negern. (Schauspiel in vier Aufzügen.) - Die Martinsgänse. (Nachspiel in einem Aufzug.) - Weihnachtabend oder Edelmann und Bürger. (Schauspiel in fünf Aufzügen.)*

Hahn, Christian (? - ?)

- 165 — Die beiden Freunde. Ein Schauspiel in drei Akten. Leipzig, C.E.Kollmann, 1819. 11 × 19 cm. 66, (1) S. Br. Unaufgeschnitten. St. (2),(3) a.d.T. *Goedeke Bd. XI/1, S. 300, 34.*

Hauch, Johann Carsten von (1790 - 1872)

- 166 — Die Belagerung Maastrichts. Ein Trauerspiel in fünf Aufzügen. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1834. 12 × 18 cm. VI, 191 (+1) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Kosch Bd. VII, Sp. 489.

Haupt, Markus Theodor von (1784 - 1832)

- 167 — Schauspiele. Bdchn. 1. Mainz, Fl. Kupferberg, 1825. 11 × 17 cm. IV, 48 (+1), (2), 98, 57, 56 S. Hldr. St. (3) a.d.T.
Goedeke Bd. VII, S. 253 f., 22, a - d. - Inhalt: Harlekins Tücke oder: Der geprellte Alte. Maskenspiel in einem Akt. - Catharina von Curland. Romantisches Schauspiel in drei Akten. - Ali-Pacha. (Bei Goedeke irrig: Ali-Pascha.) Melodram in drei Akten. - Ahasverus der nie Ruhende. Romantisches Schauspiel in drei Abtheilungen.
- 168 — Bdchn. 2. Mainz, Fl. Kupferberg, 1825. 11 × 17 cm. II, 76, 114, 95 S. Hldr.
Goedeke ebenda, e - g. - Inhalt: Der Unbekannte. Drama in drei Akten. - Der Retter wacht. Drama in drei Akten. - Die Abentheuernacht. Lustspiel in drei Akten.

Helmolt, C. G. von (.... -)

- 169 — (anonym) Der schöne Flüchtling, ein Lustspiel in fünf Akten. Nach der englischen Runaway der Mistreß Cowley, für das Herzogliche Hoftheater zu Gotha. Altenberg, Richter, 1776. 11 × 17 cm. 222 S. Kart. St. (2) a.d.T.
Holzmann/Bohatta Bd. II, S. 105, 3521.

Herbst, Joseph (? - 1798)

- 170 — Cova von Conseugra, ein Opfer der Weiber-Rache, Trauerspiel in 5 Aufzügen, aus der Spanischen Geschichte des eilften Jahrhunderts. Breslau, W.G. Korn, 1794. 10 × 16 cm. 168 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 401, 16, 1. - Erste Ausgabe.

Hertz, Henrik (1798 - 1870)

- 171 — König René's Tochter. Lyrisches Drama. Im Versmaaße [so] des dänischen Originals [1845] übersetzt von F[riedrich] A[ugust] Leo. Leipzig, C.B.Lorck, 1846. 11 × 15 cm. 100, (2) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Hirschberg S. 213. - Erste Ausgabe.
- 172 — König René's Tochter. Lyrisches Drama in einem Aufzug. Übersetzt von Carl von Reinhardstoettner. Leipzig, Reclam, o.J. [um 1884]. 9 × 14 cm. 66, (18) S. OLwd. [= Reclams UB. Miniaturausgabe.] St. (3) a.d.T.
- 173 — Svend Dyring's Haus. Romantische Tragödie in vier Akten. Im Versmaaße des dänischen Originals übersetzt von F. A. Leo. Leipzig, C.B.Lorck, 1848. 10 × 16 cm. XVI, 179, (4) S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Melitz Tl. 1, S. 189.

Herzog, Adolf (.... -)

- 174 — Merrick. Schauspiel in 4 Acten (mit freier Benutzung des Romans „Die neue Magdalena“ von Wilkie Collins). Den Bühnen gegenüber Manuscript. Dresden und Leipzig, E. Pierson, 1890. 13 × 19 cm. 194 S. T. Möris Privat-Einbd. mit marmor. Hlwd. St. (3) a.d.T.

Heun, Carl Gottlieb Samuel (Pseud.: Heinrich Clauren) (1771 - 1854)

- 175 — (Pseud.) Der Abend im Posthause, Lustspiel in fünf Aufzügen. Dresden, Arnold, 1817. 11 × 17 cm. II, 128 S. [=Separatdruck aus: „Lustspiele“ Bd. 2.] Hldr. St. (2) a.d.T.
+ Angeb.: Ders., Die Folgen eines Maskenballs, Lustspiel in einem Aufzug nach dem Französischen. Dresden, Arnold, 1817. II, 64 S. [=Separatdruck aus: „Lustspiele“ Bd. 1.]
Goedeke Bd. X, S. 51, 17, 3 und 1. - Erste Ausgaben.

- 176 — (Pseud.) Der Vorposten, Schauspiel in fünf Aufzügen. Dresden, Arnold, 1821. 10 × 16 cm. 127 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. X, S. 55, 31; Hirschberg S. 216; Wilpert/Gühning S. 189, 22. - Erste Ausgabe.
- 177 — (Pseud.) Das Vogelschießen, Lustspiel in fünf Aufzügen. Dresden, Arnold, 1822. 11 × 17 cm. 168, (6) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. X, S. 56, 33a; Hirschberg S. 216; Wilpert/Gühning S. 189, 22. - Erste Ausgabe.
- 178 — (Pseud.) Der Bräutigam aus Mexiko, Schauspiel in fünf Abteilungen. Dresden, Arnold, 1824. 10 × 16 cm. 217 S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. X, S. 56, 38 (irrig: 271 S.); Hirschberg S. 216; Wilpert/Gühning S. 189, 23. - Erste Ausgabe.

Heusenstamm zu Heißenstein und Gräfenhausen, Theodor Graf von (1801 - 1889)

- 179 — Die wunderlichen Pilger. Phantastisches Lustspiel in fünf Acten. Leipzig, O. Wigand, 1884. 13 × 18 cm. 142 S. OLwd. mit Rt. St. (3) a.d.T.
Brümmer Bd. III, S. 196.

Heyden, Friedrich August von (1789 - 1851)

- 180 — Conradin. Trauerspiel [in fünf Aufzügen]. Berlin, Realschulbuchh., 1818. 13 × 20 cm. IV, 320 (+1) S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. X, S. 293, 4; Hirschberg S. 216; Wilpert/Gühning S. 549, 2. - Erste Ausgabe.

Heyne, Christian Leberecht (Pseud.: Anton-Wall) (1751 - 1821)

- 181 — (Pseud.) Die Expedition, oder: Die Hochzeit nach dem Tode. Ein Lustspiel in drey Akten (nach Charles Collé). Leipzig, Dyk, 1781. 11 × 17 cm. 200 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
 + Angeb.: Cumberland, Richard (1732 - 1815), Der natürliche Sohn. Aus dem Englischen übersetzt. Leipzig, Dyk, 1785. 128 S.
 + Angeb.: Weppen, Johann August (1741 - 1812) (anonym), Der Hessische Officier in Amerika. Ein Lustspiel in drey Aufzügen. Göttingen, J. Chr. Dieterich, 1783. 96 S.
 + Angeb.: Babo, Josef Marius (anonym), Das Winterquartier in Amerika, ein Original-Lustspiel in einem Aufzug. Berlin, o. Verl., 1778. 50 S.
(Zu Heyne:) Goedeke Bd. IV/1, S. 619, 97, 3. - (Zu Weppen:) Goedeke Bd. IV/1, S. 629, 3, 4; Hirschberg S. 546; Holzmann/Bohatta Bd. VII, S. 325, 7739. - Erste Ausgabe. - (Zu Babo:) Goedeke Bd. V, S. 26, 4, 2; Holzmann/Bohatta Bd. VII, S. 485, 11489.
- 182 — (Pseud.) Bagatellen. Bdchn. 2. [der zweibändigen Ausgabe von 1783/85]. Leipzig, Dyk, 1783. 10 × 16 cm. 230, (2) S. Hldr. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IV/1, S. 619, 97, 8; Hirschberg S. 217. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Der Herr im Hause. Ein Lustspiel in drey Aufzügen. - Julie. Eine Erzählung. - Der Traum in der Maynacht. - Das Mährchen aus dem Morgenlande.

Heyse, Paul (1830 - 1914)

- 183 — Meleager. Eine Tragödie (in 2 Acten). Berlin, W. Hertz, 1854. 10 × 16 cm. 112 S. Kart. St. (1) a.d.T.
Hirschberg S. 217; Wilpert/Gühning S. 552, 8. - Erste Ausgabe.

Hilder, Gustav Oskar (1836 - 1888)

- 184 — Hochstapler. Original-Lustspiel in drei Akten. Berlin, R. Eckstein Nachf., o.J. 15 × 22 cm. II, 66 S. Ohne Einbd. St. (3) a.d.T.

Holbein, Franz Ignatz von (1779 - 1855)

- 185 — Theater. Bd. 1 [der zweibändigen Ausgabe von 1811/1812]. Rudolstadt, Hof-Buch- und Kunsthandlung, 1811. 13 × 20 cm. VI, 418 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 465, 5; Hirschberg S. 225. - Erste Ausgabe. - Inhalt: *Fridolin. Schauspiel in 5 Aufzügen.* - *Der Brautschmuck. Originalschauspiel in 5 Aufzügen.* - *Der Verstorbene. Ein romantisches Gemälde in 3 Aufzügen.* - *Der Verräther. Lustspiel in einem Acte.*

- 186 — Bd. 2. Rudolstadt, Hof-Buch- und Kunsthandlung, 1812. 13 × 20 cm. II, 328 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Inhalt: Leonidas. Dramatisches Gedicht in 5 Aufzügen. - *Mirina. Königin der Amazonen, in drei Aufzügen.* - *Die beiden Blinden. Oper in drei Aufzügen.* - *Das Wiedersehen. Ein ländliches Gemälde in einem Aufzuge.*

- 187 — Das Turnier zu Kronstein oder die drey Wahrzeichen. Ein romantisches Ritter-Lustspiel in fünf Abteilungen. Pesth, Hartleben, 1820. 13 × 21 cm. 106 S. [=Neuestes Theater. Bd. 1.] Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 466, 8. - Erste Ausgabe.

- 188 — (Bearb.) Das Käthchen von Heilbronn. Großes romantisches Ritterschauspiel in fünf Aufzügen. Nebst einem Vorspiele in einem Aufzuge, genannt: Das heimliche Gericht. Von Heinrich Kleist. Für die Bühne bearbeitet. Pesth, Hartleben, 1822. 13 × 21 cm. 88 S. [Es fehlt: S. 1 - 2.] [=Neuestes Theater. Bd. 2.] Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 466, 8, II. - Erste Ausgabe.

- 189 — (Bearb.) Die Waffenbrüder. Gemälde der Vorzeit in fünf Abteilungen. Nach Heinrich Kleist's: Familie Schroffenstein, frei für die Bühne bearbeitet. Wien, Wallishausser, 1824. 13 × 21 cm. 147 S. Br. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 466, 10; Hirschberg S. 225. - Erste Ausgabe.

Holberg, Ludwig von (1684 - 1754)

- 190 — Lustspiele. Übersetzt von [Adam Gottlob] Oehlenschläger. Theil 2 [der vierbändigen Ausgabe von 1822 - 1823]. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1822. 12 × 16 cm. VI, 374, (2) S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Hirschberg S. 225. - Inhalt: Das arabische Pulver [in 1 Act]. - Die Weihnachtsstube [in 1 Act]. - Die Maskerade [in 3 Acten]. - Jakob von Tybo oder der großsprecherische Soldat [in 5 Acten]. - Ulysses von Ithacia oder Eine deutsche Komödie [in 5 Acten]. - Die Reise zur Quelle [in 2 Acten].

- 191 — Theil 4. Leipzig, F.A.Brockhaus, 1823. 12 × 16 cm. XX, 472, (2) S. Mit Vorrede des Übersetzers zum vierten Theile. Hldr. St. (2) a.d.T.

Inhalt: Crasmus Montanus [in 5 Acten]. - Pernille, als Tochter vom Hause [in 3 Acten]. - Die Unsichtbaren [in 3 Acten]. - Viel Geschrei und wenig Wolle [in 3 Acten]. - Die honette Ambition [in 3 Acten]. - Der Poltergeist oder Abracadabra [in 3 Acten]. - Don Ranudo de Colibrados oder: Armuth und Hoffahrt [in 5 Acten].

Houwald, Ernst Christoph Freiherr von (1778 - 1845)

- 192 — Der Fürst und der Bürger. Ein Drama in drei Aufzügen. Leipzig, G.J.Göschel, 1823. 10 × 17 cm. VIII, 168, (2) S. Ppbd. St. (2), (3) a.d.T.

Goedeke Bd. VIII, S. 312, 18; Hirschberg S. 234; Wilpert/Gühring S. 597, 7. - Erste Ausgabe.

Ibsen, Henrik (1828 - 1906)

- 193 — Brand. Ein dramatisches Gedicht. Übersetzt von L. Passarge. Leipzig, Reclam, o.J. [um 1881]. 9 × 14 cm. 169, (19) S. OLwd. [=Reclams UB. Miniaturlausgabe.] St. (3) a.d.T.

Iffland, August Wilhelm (1759 - 1814)

- 194 — Theater. Erste vollständige Ausgabe. Mit Biographie, Portr. und Facs. des Dichters. Bd. 1 [der 24bändigen Ausgabe 1843]. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 241 S. Hldr. St. (1) a.d.T.

- Goedeke Bd. V, S. 270, 77; Hirschberg S. 240; Meyer Bd. 1, S. 368 ff.; Wilpert/Gühning S. 612, 74. - Inhalt: *Albert von Thurneisen, Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Die Mündel, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 195 — Bd. 2. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 257 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Verbrechen aus Eifersucht, Familien-Gemälde in fünf Aufzügen. - Die Jäger, ländliches Sittengemälde in fünf Aufzügen.*
- 196 — Bd. 3. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 254 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Bewußtsein, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Der Spieler, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 197 — Bd. 4. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 291 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Reue versöhnt, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Figaro in Deutschland, Lustspiel in fünf Aufzügen.*
- 198 — Bd. 5. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 247 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Achmet und Zenide, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Frauenstand, Lustspiel in fünf Aufzügen.*
- 199 — Bd. 6. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 248 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Der Komet, Posse in einem Aufzuge. - Leichter Sinn, Lustspiel in fünf Aufzügen.*
- 200 — Bd. 7. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 256 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Herbsttag, Lustspiel in fünf Aufzügen. - Friedrich von Oesterreich, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 201 — Bd. 8. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 269 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Elise von Balberg, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Das Gewissen. Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Luassan, Fürst von Garisene, Prolog in einem Aufzuge.*
- 202 — Bd. 9. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 257 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Die Erinnerung, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Alte und neue Zeit, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Der Magnetismus, Nachspiel in einem Aufzuge.*
- 203 — Bd. 10. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 247 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Das Vermächtniß, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Die Aussteuer, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 204 — Bd. 11. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 263 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Die Hagestolzen, Lustspiel in fünf Aufzügen. - Die Geflüchteten, Schauspiel in einem Aufzuge. - Die Reise nach der Stadt, Lustspiel in fünf Aufzügen.*
- 205 — Bd. 12. Wien, I. Klang, 1843. 12 × 16 cm. 253 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Der Mann von Wort, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Die Advokaten, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 206 — Bd. 13. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 264 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Der Fremde, Lustspiel in fünf Aufzügen. - Selbstbeherrschung, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 207 — Bd. 14. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 240 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Dienstpflcht, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Der Veteran, Schauspiel in einem Aufzuge. - Die Verbrüderung, Schauspiel in einem Aufzuge. - Der Eichenkranz, Dialog in einem Aufzuge. - Die Vaterfreude, Vorspiel in einem Aufzuge. - Liebe um Liebe, ländliches Schauspiel in einem Aufzuge.*
- 208 — Bd. 15. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 240 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Allzuseharf macht schartig, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Die Höhen, Schauspiel in fünf Aufzügen.*
- 209 — Bd. 16. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 236 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Der Vormund, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Das Erbtheil des Vaters, Schauspiel in vier Aufzügen.*
- 210 — Bd. 17. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 283 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: *Die Kokarden, Trauerspiel in fünf Aufzügen. - Die Familie Lonau, Lustspiel in fünf Aufzügen.*

- 211 — Bd. 18. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 264 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Hausfreunde, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Scheinverdienst, Schauspiel in fünf Aufzügen.
- 212 — Bd. 19. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 299 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Künstler, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Das Vaterhaus, Schauspiel in fünf Aufzügen.
- 213 — Bd. 20. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 308 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Der Oheim, Lustspiel in fünf Aufzügen. - Die Marionetten, Lustspiel in einem Aufzuge. - Wohin? Schauspiel in fünf Aufzügen.
- 214 — Bd. 21. Wien, I. Klang, 1843. 12 × 16 cm. 251 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Rückwirkung, Lustspiel in einem Aufzuge. - Die Nachbarschaft, Lustspiel in einem Aufzuge. - Der Taufschein, Lustspiel in einem Aufzuge. - Die erwachsenen Töchter, Lustspiel in drei Aufzügen. - Die Müßiggänger, Lustspiel in einem Aufzuge.
- 215 — Bd. 22. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 245 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Duhautcours, oder: der Vergleichis-Kontrakt, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Heinrich's V. Jungenjahre, Lustspiel in drei Aufzügen. - Der Flatterhafte, oder die schwierige Heirath, Lustspiel in drei Aufzügen.
- 216 — Bd. 23. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 357 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Frau von Sevigné, Schauspiel in drei Aufzügen. - Der gutherzige Polterer, Lustspiel in drei Aufzügen. - Der Haustirann, Schauspiel in fünf Aufzügen. - Die Einung, Schauspiel in einem Aufzuge. - Liebe um Wille, ländliches Gespräch in einer Handlung. - Die Brautwahl, Lustspiel in einem Aufzuge.
- 217 — Bd. 24. Wien, I.Klang, 1843. 12 × 16 cm. 205 S. Mit Portr. und Facs. A.W.Iffland's. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Theatralische Laufbahn A.W. Iffland's. - Biographie A.W. Iffland's.

Immermann, Karl Lebrecht (1796 - 1840)

- 218 — Kaiser Friedrich der Zweite. Trauerspiel in 5 Aufzügen. Hamburg, Hoffmann und Campe, 1828. 10 × 16 cm. II, 175 S. Mit Titelvign.
Goedeke Bd. VIII, S. 614, 46; Hirschberg S. 240; Wilpert/Gühning S. 614, 15. - Erste Ausgabe.
- 219 — Die Verkleidungen. Lustspiel in drei Aufzügen. Hamburg, Hoffmann und Campe, 1828. 10 × 17 cm. II, 138 S. Mit Titelvign. Ohne Einbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. VIII, S. 614, 48; Hirschberg S. 240; Wilpert/Gühning S. 614, 17. - Erste Ausgabe.

Jünger, Johann Friedrich (1759 - 1797)

- 220 — Lustspiele. Theil 1 [von 5]. Leipzig, Dyk, 1785 [- 1789]. 10 × 16 cm. II, 126, 190 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IV/1, S. 612, 88, 6, a und b; Hirschberg S. 247; Meyer Bd. 1, S. 391 ff.; Wilpert/Gühning S. 638, 11. - Erste Ausgabe. - Inhalt: Die Badekur. In zwey Akten. - Freundschaft und Argwohn. In fünf Akten.
- 221 — Theil 3. Leipzig, Dyk, 1788. 10 × 16 cm. XXXXI, 172, 120 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke ebenda, 6, e und f. - Inhalt: Verstand und Leichtsin. Ein Lustspiel in fünf Akten. - Der doppelte Liebhaber. Ein Lustspiel in drey Akten.
- 222 — Theil 5. Leipzig, Dyk, 1789. 11 × 16 cm. II, 131, 87, 45 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke ebenda, 6, i und k sowie 7. - Inhalt: Der Wechsel. Ein Lustspiel in vier Akten. - Dank und Undank. Ein Lustspiel in drey Akten. Frey nach l'Ingrat des Destouches. - Der Instinkt oder Wer ist Vater zum Kinde? Ein Nachspiel.
- 223 — Comisches Theater. Bd. 3 [von 3]. Leipzig, G.J.Götschen, [1792 -] 1795. 10 × 16 cm. 1 Bl., S. I - II; 1 - 175, 337 - 339. [Unvollständig. Es fehlen Bogen L - X.] Mit Titeltupfer. Ppbd. St. (2) a.d.T.
Goedeke Bd. IV/1, S. 613, 16, f und h; Meyer Bd. 1, S. 393. - Erste Ausgabe. - Enthält

zwei [von 3] Dramen: *Die Geschwister vom Lande. Ein Lustspiel in fünf Aufzügen.* – *Die Komödie aus dem Stegreif. Lustspiel in einem Aufzuge. Frey nach Poissons Idee.* – Es fehlt „Maske für Maske“. *Die Lücke wird ergänzt durch:*

- + Angeb.: Ders., *Maske für Maske. Lustspiel in drey Aufzügen nach Marivaux.* [Leipzig, G.J.Götschen, 1794.] 156 S. [=Einzeldruck aus: „Comisches Theater“ Bd. 3.]

Goedeke ebenda, 16, g; Wilpert/Gühning S. 638, 27; S. 639, 33.

Kind, Johann Friedrich (1768 – 1843)

- 224 – *Wilhelm der Eroberer.* Leipzig, Züllichau und Freystadt, Darnmann, 1806. 10 × 16 cm. IV, 306 (+1), (2) S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 248, 12; Hirschberg S. 261 (irrig: Frankfurt); Wilpert/Gühning S. 674, 10. – Erste Ausgabe.

- 225 – *Der Weinberg an der Elbe.* Aufgeführt auf dem Königlichen Theater zu Dresden am 15. und 16. Nov. 1817. Leipzig, G.J.Götschen, 1817. 12 × 21 cm. VIII, 53 S. Mit Kupfer und 4 Bl. Musik von Carl Maria v. Weber. Kart. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 259, 40; Hirschberg S. 261; Wilpert/Gühning S. 674, 23. – Erste Ausgabe.

- 226 – *Theaterschriften.* Bd. 1 [von 4]. Leipzig, G.J.Götschen, 1821 [– 1827]. 11 × 17 cm. IV, 398 (+1) S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 263, 56, 1 – 4; Hirschberg S. 261; Wilpert/Gühning S. 674, 34. – Erste Ausgabe. – Inhalt: Der Minstrel. Dramatisches Gedicht in fünf Aufzügen (1804). – Vergeltung. Schauspiel in fünf Aufzügen (1799). – Die schwarze Frau, oder: Die Wette. Lustspiel in zwei Aufzügen (1806). – Alcindor. Fest-Oper in drei Aufzügen (1819).

- 227 – *Schön Ella.* Volks-Trauerspiel in fünf Acten. Mit einem Anhang. Leipzig, G.J.Götschen, 1825. 10 × 17 cm. 246 S. Ohne Kupfer. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. IX, S. 271, 63; Hirschberg S. 261; Wilpert/Gühning S. 674, 38. – Erste Ausgabe.

Klähr, Karl Gottfried (Pseud.: Karl Fero) (1773 – 1842)

- 228 – (Pseud.) *Dramatische Ephemerem.* Meissen, Fr. W. Goedsche, 1810. 12 × 19 cm. II, 104, 160, 109, (16) S. Hldr. St. (2), (3) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 475, 78, 1; Hirschberg S. 263. – Nachdruck der Erstausgabe von 1809. – Inhalt: Die Lotterielisten. Ein Lustspiel in zwey Akten nach einer Anekdote. – Die Rettung. Ein Schauspiel in vier Akten. – Die geliebten Feinde. Ein Lustspiel in zwey Akten, nach einer Anekdote frey bearbeitet.

Kleist, Heinrich von (1777 – 1811)

- 229 – *Dramatische Meisterwerke in 2 Bdn.* Bd. 1 – 2 in 1 Bd. Berlin, S.Hahne, o.J. 11 × 16 cm. 160, 159 S. OLwd. St. (3) a.d.T.

Inhalt: (Bd. 1:) Prinz Friedrich von Homburg. – Die Herrmannsschlacht [so]. – (Bd. 2:) Das Käthchen von Heilbronn oder die Feuerprobe. – Der zerbrochene Krug.

Klingemann, Ernst August Friedrich (1777 – 1831)

- 230 – *Moses.* Ein dramatisches Gedicht in fünf Acten. Mit einem Prologe. Helmstädt, C.G. Fleckeisen, 1812. 11 × 18 cm. XVI, 230 (+2) S. Mit Titelvign. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 441, 16; Hirschberg S. 265; Wilpert/Gühning S. 683, 15. – Erste Ausgabe.

- 231 – *Die Grube zur Dorothea.* Ein Schauspiel in fünf Aufzügen. Helmstädt, C.G.Fleckeisen, 1817. 12 × 20 cm. II, 157 S. Ppbd. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 442, 23; Hirschberg S. 266; Wilpert/Gühning S. 684, 22. – Erste Ausgabe.

- 232 – *Dramatische Werke (in 2 Bdn.).* Bd. 2. Braunschweig, G.C.G.Meyer, 1817 [statt: 1818]. 12 × 20 cm. II, IV, 350 S. Hldr. St. (2) a.d.T.

Goedeke Bd. VI, S. 442, 25, e und f; Hirschberg S. 265; Meyer Bd. 2, S. 434; Wilpert/Gühling S. 684, 26. - Inhalt: *Das Kreuz im Norden. Trauerspiel in fünf Acten aus alter nordischer Vorwelt. - Ferdinand Cortez, oder: die Eroberung von Mexiko. Historisches Drama in fünf Acten.*

Köberle, J. Georg (1819 - 1898)

- 233 — Die Medicäer. Drama in fünf Acten. (Manuskript). Eigentum des Verfassers. [Leipzig um 1849.] 15 × 23 cm. 83 S. Kart. St. (1) a.d.T.
Brümmer Bd IV, S. 38; Kosch Bd. IX, Sp. 26.
- 234 — Heinrich der Vierte von Frankreich. Historische Tragödie in fünf Acten. (Als Manuskript gedruckt.) Eigentum des Verfassers. [Leipzig um 1851.] 14 × 12 cm. 183 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Brümmer Bd. IV, S. 38; Kosch Bd. IX, Sp. 26.

Koch, Wilhelm (1825 - 1904)

- 235 — Der Mutter Geist. Ein Drama in einem Aufzuge. (Den Bühnen gegenüber Manuskript.) Dresden, Adler und Dietze, 1856. 10 × 14 cm. VIII, 80 S. OKart. St. (3) a.d.T.
Brümmer Bd. IV, S. 43; Kosch Bd. IX, Sp. 26.

Kotzebue, August Friedrich Ferdinand von (1761 - 1819)

- 236 — [Handschriftlich:] Das Epigramm. [Lustspiel in vier Akten.] 10 × 17 cm. S. 93 - 328. [Mit Bogenorm: Fünft. Bd.]. Ohne Titelbl. Ppbd. St. (2) auf der ersten S. [= Leihbibliotheks-Expl.]
Es handelt sich um das mittlere Teil eines geteilten Expl., aus: „Neue Schauspiele“ [23 Bde. Leipzig, E. Kummer, 1798 - 1819], Bd. 5 [1801]. - Vgl. Goedeke Bd. V, S. 279, 53 und S. 280, 66; Meyer Bd. 2, S. 488.
- 237 — Theater. Bd. 4 [der 40bändigen Ausgabe von 1840 - 1841]. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 319 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Goedeke Bd. V, S. 287, 267; Hirschberg S. 279; Meyer Bd. 2, S. 588 ff.; Wilpert/Gühling S. 714, 207. - Inhalt: Sultan Wampum. - Graf Benjowski, oder: Die Verschwörung auf Kamtschatka. - Die Spanier in Peru, oder: Rollas Tod.
- 238 — Bd. 5. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 384 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Armuth und Edelsinn. - Der Mann von vierzig Jahren. - Die Negersklaven. - Die Verleumder.
- 239 — Bd. 6. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1845. 12 × 16 cm. 347 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Witwe und das Reitpferd. - Der Wildfang. - Der Graf von Burgund. - Falsche Scham.
- 240 — Bd. 7. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 323 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: La Peyrouse. - Die Versöhnung. - Die Verwandtschaften. - Die Unglücklichen.
- 241 — Bd. 8. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 263 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Der Opfertod. - Das Dorf im Gebirge. - Die silberne Hochzeit.
- 242 — Bd. 9. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 355 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Die Corsen. - Der alte Leibkutscher Peter des Dritten. - Üble Laune. - Der Leineweber. - Johanna von Montfaucon.
- 243 — Bd. 11. Leipzig/Wien, E.Kummer/I.Klang, 1840. 12 × 16 cm. 344 S. Hldr. St. (1) a.d.T.
Inhalt: Lohn der Wahrheit. - Das Epigramm. - Die kluge Frau im Walde, oder: Der stumme Ritter.